

エジプト国
スエズ運河戦略強化プロジェクト
業務完了報告書

2015年3月

独立行政法人
国際協力機構（JICA）

一般財団法人 国際臨海開発研究センター
株式会社 三菱総合研究所
株式会社 Ides

基盤
JR
15-063

略語

C/P	カウンターパート (Counterpart)
DB	データベース (Database)
F/S	フィージビリティ調査 (Feasibility Study)
FIRR	財務的内部収益率 (Financial Internal Rate of Return)
GDP	国内総生産 (Gross Domestic Product)
GTAP	世界貿易分析プロジェクト (Global Trade Analysis Project)
GTN	世界貿易ナビゲーター (Global Trade Navigator)
ICC	国際商業会議所 (International Chamber of Commerce)
ICS	国際海事会議所 (International Chamber of Shipping)
IMB	国際海事局 (International Maritime Bureau)
IMF	国際通貨基金 (International Monetary Fund)
IMO	国際海事機関 (International Maritime Organization)
IT/R	中間報告 (Interim Report)
JV	共同企業体 (Joint Venture)
LNG	液化天然ガス (Liquefied Natural Gas)
LPG	液化石油ガス (Liquefied Petroleum Gas)
M/P	マスタープラン (Master Plan)
MDS	MDSデータモデル (MDS Transmodal)
MM	議事録 (Minutes of Meeting)
MRI	株式会社三菱総合研究所 (Mitsubishi Research Institute, Inc.)
MTWG	海上輸送ワーキンググループ (Maritime Transport Working Group)
OCDI	国際臨海開発研究センター (The Overseas Coastal Area Development Institute of Japan)
ODA	政府開発援助 (Official Development Assistance)
OD	出発地-目的地 (Origin-Destination)
OJT	オン・ザ・ジョブ・トレーニング (On the Job Training)
P/R	進捗状況報告 (Progress Report)
P2M	プロジェクト・プログラム管理 (Project & Program Management)
PCM	プロジェクトサイクル管理 (Project Cycle Management)
PCUMS	パナマ運河ユニバーサル計測システム (Panama Canal Universal Measurement Unit Systems)
PDM	プロジェクトデザインマトリックス (Project Design Matrix)
PO	実施計画 (Plan of Operation)
RD	議事録 (Record of Discussion)
SCA	スエズ運河庁 (Suez Canal Authority)
SCNT	スエズ運河純トン数 (Suez Canal Net Tonnage)
SDR	特別引出権 (Special Drawing Rights)
SUMED	スエズ-地中海 (Suez-Mediterranean)
SW	仕様書範囲 (Scope of Work)
TEU	20 フィート換算単位 (Twenty-foot Equivalent Units)
WBS	作業分解図 (Work Breakdown Structure)

1. プロジェクトの背景	4
1-1 業務概要	4
1-2 作業と活動範囲	5
2. 現在のワークプランに示されている主要な活動	6
2-1 入力と PDM の業務活動	6
2-2 ワークプランにある特定の活動	8
3. プロジェクトの実施状況	11
3-1 入力	11
3-2 ワークショップ	13
3-3 合同セミナー	30
3-4 本邦研修 (OJT)	33
3-5 ローカルコンサルタントの活用	77
3-6 現地調査	77
3-7 運営委員会 (SC)	87
3-8 共同委員会の調整(JCC)	88
3-9 JICA セミナー	92
4. パフォーマンス評価	94
4-1 両者の入力	94
4-2 ワークショップ	94
4-3 合同セミナー	94
4-4 本邦研修 (OJT)	94
4-5 ローカルコンサルタントの活用	95
4-6 現地調査	95
4-7 運営委員会 (SC)	95
4-8 共同調整会議(JCC)	95
4-9 総括的な評価	95

1. プロジェクトの背景

1-1 業務概要

スエズ運河庁（以下、「SCA」）が所管しているスエズ運河の通航料金収入は、観光、石油、海外在住労働者からの送金に並ぶエジプト国（以下、「エ」国）の主要な外貨獲得源の一つである。2008年においては、53.8億ドルの通航料金収入であった。その後、2008年9月のリーマンショックとこれに端を発した世界的財政・金融危機の発生、ソマリア沖での海賊事案の頻発等により、2009年には、42.9億ドルにまで落ち込んだ。通航量の回復もあり、2011年には、通航収入は53億ドルまで回復している。

スエズ運河の通航料金収入は、世界的な経済状況、石油価格、競合ルート（他の運河、航路、パイプライン等）の整備等により大きく変動する。JICAは、SCAに対し、開発調査「スエズ運河経営改善計画調査」を2000～2001年に行い、①運河通航量予測モデル、②通航料金設定システム、③既存開発計画の評価等の技術を供与している。SCAはそれらの技術を活用し、収入の最適化に努めている。

しかし、近年、船舶の大型化、競合ルート（パナマ運河拡張計画、北極海航路の具体化等）の拡充、アデン湾・ソマリア沖の海賊事案の頻発等外部環境の変化も激しい。今後も世界の海運の状況は継続的に大きく変化することが予想され、スエズ運河の船舶航行数等に大きく影響する可能性が高い。これらの変化に適切に対応するためには、SCAの計画策定・評価、料率設定等に係る能力・体制強化が喫緊の課題となっている。

このため、JICAは、技術協力プロジェクトの詳細確定及びプロジェクト実施のためのプロジェクトチームを派遣した。プロジェクトチームは、2012年4月、PDMとPOを含むワークプランをSCAと合意した。（ワークプランは、Appendices Iに添付）

総ての活動は、このワークプランに基づき実施されている。ワークプランの概要を以下に示す。

1-1-1 全体的な目標

スエズ運河の競争力が高まる。

1-1-2 プロジェクトの目的

SCAの運河戦略策定能力が強化される。

1-1-3 作業目標

ワークプランとPDMに示されている作業目標は、以下の通りである。

- (1) 国際海運・物流の分析に係るSCAの能力・体制の強化
- (2) 国際海運・物流に係る需要予測モデルの開発・運用に係るSCAの能力・体制の強化
- (3) SCAの利用料金設定に係る能力・体制の強化
- (4) SCAの将来開発計画策定に係る能力・体制の強化
- (5) SCAの付加価値サービス（交通・非交通）提供に係る能力・体制の強化

1-2 作業と活動範囲

プロジェクトの範囲はスエズ運河やスエズ運河に関連するエリアであり、イスマイリアを基点の事務所とする。

2. 現在のワークプランに示されている主要な活動

2-1 入力と PDM の業務活動

ワークプランの第 1 章に示された作業目標達成するため、次の活動を行う。

2-1-1 インプット

(1) 日本側

1) 短期専門家

効果的な実施を図るため、次の短期専門家を派遣する。

総括／戦略策定

経済分析/マーケット（専門家 2 名）

国際海運（専門家 2 名）

需要予測/モデル化（専門家 4 名）

財務分析

将来計画

航路安全

工学（水理学、安全性（石油流出））

上記専門家の内、「工学」については、JICA の別のプログラムに基づき実施されるため、本件プログレスレポートには記載しない。

2) 本邦研修（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）(OJT)

3 年間に約 11 名を日本での本邦研修 (OJT)を行うために招聘する。11 名中の 2 名は、JICA の別のプログラムに基づき実施されるため、本件プログレスレポートに記載しない。

3) 運営費

JICA は、PDM の『エジプト側コスト負担』と記載されているコストの項目を除く運用費用を負担する。

(2) エジプト側

1) 人員

プロジェクトを効果的に実施するため、次の人員を配置する。

プロジェクト・ダイレクター

プロジェクト・マネージャー

エコノミックユニットと研究センターの C/P (エコノミックユニットの C/P は、13 名)

- 1) プロジェクトオフィス・プロジェクトの実施のために必要な施設の提供
- 2) その他
管理と操作コスト
ランニングコスト (電気、水等)
プロジェクトの実施に必要な機器

2-1-2 活動

JICA チームと SCA の共同作業による必要な活動は、次のとおりである。

- i)活動 1: 国際海運の分析能力向上のための共同作業
- ii)活動 2: 激変する世界海運市場を考慮した海上交通モデル開発・操作能力向上のための共同作業
- iii)活動 3: 運河通航料率設定能力向上のための共同作業
- iv)活動 4: 将来開発計画策定能力向上のための共同作業
- v)活動 5: 付加価値サービス検討能力向上のための共同作業

2-1-3 活動分類

上記活動は、以下に示す複数の小活動からなっている。

-活動 1-

- 活動 1-1: スエズ運河の通過交通に関係する船舶・貨物マーケットの将来動向を含む世界経済・貿易、国際海運・物流状況のレビュー
- 活動 1-2: スエズ運河の通過交通に対する海賊問題等の影響を考慮に入れた世界の海上交通・輸送状況のレビュー
- 活動 1-3: 海賊問題のスエズ運河の通過交通への影響の分析
- 活動 1-4: 複数の代替ルート (北極海ルート、拡張後のパナマ運河ルート等)を含む世界の国際海運・物流の競合構造の検討・分析
- 活動 1-5: 複数代替ルートの費用・時間の分析
- 活動 1-6: セミナー・ワークショップによる国際海運・輸送動向の分析

-活動 2-

- 活動 2-1: 2001 年に JICA が支援した需要予測モデルのレビュー
- 活動 2-2: 変動する世界の海運マーケットに適応させるための JICA の需要モデルの修正オプションの検討分析
- 活動 2-3: 新たな需要予測モデルの開発
- 活動 2-4: セミナー・ワークショップによる新規モデルの導入・演習

-活動 3-

- 活動 3-1: 世界の主要な運河の利用料金設定システムのレビュー
- 活動 3-2: スエズ運河の利用料金設定システムの課題の分析
- 活動 3-3: スエズ運河の利用料金設定オプションの検討
- 活動 3-4: スエズ運河の利用料金設定オプションを用いたスエズ運河岸の料金収入予測の実施
- 活動 3-5: スエズ運河の利用料金設定オプションの評価
- 活動 4-**
 - 活動 4-1: スエズ運河の既存の将来開発計画のレビュー
 - 活動 4-2: スエズ運河の将来開発計画のオプションの課題の分析
 - 活動 4-3: スエズ運河の将来開発計画のオプションの検討
 - 活動 4-4: スエズ運河の将来開発計画のオプションの評価
- 活動 5-**
 - 活動 5-1: スエズ運河利用者に対する付加価値のあるサービス（交通・非交通）に係る現状のレビュー
 - 活動 5-2: スエズ運河利用者に対する付加価値のあるサービス（交通・非交通）提供オプションの検討のための課題の分析
 - 活動 5-3: スエズ運河利用者に対する付加価値のあるサービス（交通・非交通）提供オプションの検討
 - 活動 5-4: スエズ運河利用者に対する付加価値のあるサービス（交通・非交通）提供オプションの評価

2-2 ワークプランにある特定の活動

2-2-1 ワークショップ

各活動の実施方法の検討及び分析結果の共有等を図るためのワークショップを適切に実施する。

2-2-2 共同セミナー

共同セミナーは、活動-1～活動-5 に属する様々な話題を議論できるような包括的な会議とする。

2-2-3 本邦研修（OJT）

C/P を日本に招聘し、1 ヶ月程度の本邦研修を実施する。研修参加者は、日本人専門家と共同作業を行い、最新情報、ノウハウの取得を図る。また、特定テーマに関する報告書を作成する。

2-2-4 ローカルコンサルタントの活用

本件プロジェクトの実施上、多くの労力が必要となる場合がある。この場合、必要に応じローカルのコンサルタントを活用する。特記仕様書の作成、雇用手続、作業管理は、SCA と共同で行う。

2-2-5 現地調査

(1) 海賊事案

国際的な海事機関等の海賊対策及び分析に係る情報を収集するため、国際的な海事機関等への現地調査を実施する。訪問先としては、国際商業会議所(ICC)の国際海事局(IMB)、国際海事機関(IMO)、国際海運商議所(ICS)を想定する。海賊事案の大手船社への影響についても、船社訪問を通じて情報収集を行う。

(2) 代替ルート

代替ルートの開発計画と将来通航の見通しに関するデータ、情報は、国際的な海事機関の研究レポートと代替ルートの現地調査に基づいて、収集・分析される。

(3) 他のフィールド調査

スエズ運河を通航する船舶の船長のインタビュー/アンケート調査

- インタビューの総数 : 50 (1ヶ月で50船長)

スエズ運河沿いの船社代理店でのインタビュー調査

- インタビューの総数 : 10 (1ヶ月で10船社代理店)

2-2-6 モニタリング・評価

プロジェクトのパフォーマンスレベルのモニタリング及び評価は、ワークプランで示された方法で行われる。モニタリングの結果に基づいて、PDMは、プロジェクト目標をより効率的に達成するために必要に応じ改訂される。この改訂案は、運営委員会(SC)で議論され、合同調整委員会(JCC)によって承認される。

モニタリング評価は、次のシートを利用して行う。

モニタリング・評価シート (活動 1) (例)

活動 1	評価レベル					備考
	1	2	3	4	5	
活動 1-1						
活動 1-2						
活動 1-3						
活動 1-4						
活動 1-5						
活動 1-6						

モニタリング評価シート (Output)

活動 1	評価レベル					備考
	1	2	3	4	5	
出力 1						
出力 2						
出力 3						
出力 4						
出力 5						

2-2-7 運営委員会(SC)

運営委員会 (SC) のスケジュールは、作業フローチャートを示す。

2-2-8 合同調整委員会 (JCC)

合同調整委員会 (JCC) のスケジュールは、作業フローチャートを示す。

3. プロジェクトの実施状況

3-1 入力

3-1-1 日本側

(1) 短期専門家

JICA は、本件プロジェクトに以下の表に示す 12 名の短期専門家を配置した。

表 3-1 チームメンバー

担当業務	名前
総括/戦略策定	東 俊夫(OCDI)
経済分析/マーケット(1)	黒田 秀彦(Ids)
経済分析/マーケット(2)	舘野 美久(OCDI)
国際海運(1)	中島 潔(OCDI)
国際海運(2)	小舟 浩治(Ids)
需要予測(1)	吉田 哲生(Ids)
需要予測(2)	加藤 二郎(MIR)
需要予測(3)	柴崎 隆一(OCDI)
需要予測(4)	大石 礎(MRI)
財務分析	宮脇 信英(Ids)
施設計画	藤本 光弘(OCDI)
航路安全	矢吹 英雄(OCDI)

(2) 本邦研修 (OJT)

2012 年に 4 名のスタッフ、2013 年に 4 名のスタッフ、2015 年に 3 名のスタッフが本邦共同作業(OJT)に参加した。昨年の OJT の詳細は、この章の別のセクションで説明する。

(3) 運営費

JICA は、プロジェクトデザインマトリックス (PDM) の『エジプト側コスト負担』と記載されているコストの項目を除く運用費は負担している。

3-1-2 エジプト側

(1) 担当者

スエズ運河庁（SCA）は、次表に示す本プロジェクトのためのカウンターパート（C/P）を配置した。

表 3-2 C/P スタッフメンバー

第 1～3 次現地調査（2012 年 3 月～2012 年 12 月）

役職/(担当業務)	名前
計画調査研究部長	Eng. Nabil A. M. El-Tanbedawi
計画調査研究部 次長	Mr. Mahmoud A. Rezk
計画調査研究部 次長	Mr. El-Sayed Marei
計画調査研究部 総括課長	Mr. Yahia Rushdy Gharib
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Elsayed Abou-el-Fetouh Elsayed
(リキッドバルク)	Mr. Fathy Abd El-Bary
(ドライバルク)	Mr. Refaat Saad Arnoot
(長距離輸送船)	Mr. Hossam Abdel Karim
(ドライバルク)	Mr. Emad Hamdy Fawaz
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Hatem Abd-el Gawad
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Zidan Salim Soliman
(ドライバルク)	Mr. Mohamed Abd-el Wahab Awad Askar
計画調査研究部 顧問	Dr. Acc. Abdel Tawab Hagag

第 4 次現地調査（2013 年 1 月～2013 年 12 月）

役職/(担当業務)	名前
計画調査研究部長	Eng. Hossam M.El-Kodary
計画調査研究部 次長	Mr. Mahmoud A. Rezk
計画調査研究部 次長	Mr. Yahia Rushdy Gharib
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Elsayed Abou-el-Fetouh Elsayed
(リキッドバルク)	Mr. Fathy Abd El-Bary
(ドライバルク)	Mr. Refaat Saad Arnoot
(長距離輸送船)	Mr. Hossam Abdel Karim
(ドライバルク)	Mr. Emad Hamdy Fawaz
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Hatem Abd-el Gawad
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Zidan Salim Soliman
(ドライバルク)	Mr. Mohamed Abd-el Wahab Awad Askar
計画調査研究部 顧問	Dr. Acc. Abdel Tawab Hagag

第5～6次現地調査（2013年1月～2013年12月）

役職/(担当業務)	名前
計画調査研究部長	Mr. Mahmoud A. Rezk
計画調査研究部 次長	Dr. Yahia Rushdy Gharib
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Elsayed Abou-el-Fetouh Elsayed
(リキッドバルク)	Mr. Fathy Abd El-Bary
(ドライバルク)	Mr. Refaat Saad Arnoot
(長距離輸送船)	Mr. Hossam Abdel Karim
(ドライバルク)	Mr. Emad Hamdy Fawaz
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Hatem Abd-el Gawad
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Zidan Salim Soliman
(ドライバルク)	Mr. Mohamed Abd-el Wahab Awad Askar
計画調査研究部 顧問	Dr. Acc. Abdel Tawab Hagag

(2) プロジェクトオフィスとプロジェクト実施のために必要な施設の提供

SCA は、プロジェクトオフィスとプロジェクトの実施のために必要な設備を提供している。

(3) その他

SCA は、プロジェクトの実施のために必要な機器、電気、水等、運営とランニングコストの管理を提供している。

3-2 ワークショップ

様々な課題に係るワークショップを継続的に実施した。2015年2月までに開催したワークショップのリストを次表に示す。ワークショップで活用されたすべての資料は、付録Ⅱに添付する。

ワークショップ (第1～3次現地調査)

日付	業務担当	内容	担当者
2012/3/28	需要予測	Commodity OD Maritime OD	吉田
2012/3/29	需要予測	Vessel Cargo OD Route Choice Model	吉田
2012/4/1	経済分析 / マーケティング	Its Role & Philosophy (1)	舘野
2012/4/2	経済分析 / マーケティング	Its Role & Philosophy (2)	舘野
2012/4/5	経済分析 / マーケティング	SCA Toll Collecting System	舘野
2012/4/12	経済分析 / マーケティング	Effect of Panama Canal Expansion	舘野
2012/7/11	需要予測	OD Growth Model Route Choice Model	大石
2012/7/14	需要予測	Route Choice (Suez/Panama/Cape) of the World Maritime Container Shipping and its Modeling	柴崎
2012/7/15	需要予測	OD Growth Model Route Choice Model	大石
2012/7/16	需要予測	Route Choice (Suez/Panama/Cape) of the World Maritime Container Shipping and its Modeling	柴崎
2012/7/18	需要予測	Route Choice (Suez/Panama/Cape) of the World Maritime Container Shipping and its Modeling (2)	柴崎
2012/7/28	需要予測	OD Growth Model Route Choice Model	大石
2012/9/11	経済分析 / マーケティング 国際海運	3C Analysis Method	舘野 小舟
2012/9/13	需要予測	Develop OD Growth Model	加藤 大石
2012/9/17	航路安全	Transit speed and the transit interval	矢吹
2012/9/18	航路安全	SCA Training Center	矢吹
2012/9/23	需要予測	OD Growth Model Route Choice Model	大石
2012/9/24	経済分析 / マーケティング	How To Prepare New Toll System	黒田
2012/9/25	経済分析 / マーケティング	SCA Toll Charge Collecting System	舘野
2012/9/29	国際海運	Panama Canal	小舟
2012/9/29	航路安全	The Safe and Efficient Transit Service	矢吹
2012/9/29	施設計画	Transit Capacity	藤本
2012/10/9	経済分析/マーケティング 財務分析	How To Prepare New Toll System for Container Vessels Similar to Panama Canals	黒田 宮脇
2012/10/11	国際海運	Compasion of Toll Charges Among Suez,Panama and St.Laurence Canals	小舟
2012/10/11	需要予測	Route Choice (Suez/Panama/Cape) of the World Maritime Bulk Shipping and its Modeling(1)	柴崎
2012/10/14	需要予測	Route Choice Model (Oil Tanker,LPG,Chemical)	大石
2012/10/14	需要予測	Difference of Route Choice of Tanker Between Loated and Ballasted Ship	柴崎
2012/10/22	需要予測	Route Choice (Suez/Panama/Cape) of the World Maritime Bulk Shipping and its Modeling(2)	柴崎
2012/10/23	需要予測	Ports on the Northern Sea Route (NSR) and Neighbor Area	柴崎
2012/10/31	需要予測	OD Growth Model Route Choice Model	大石

ワークショップ（第1～3次現地調査）

日付	業務担当	内容	担当者
2013/1/31	需要予測	OD Growth Model Route Choice Model	加藤
2013/2/3	施設計画	Transit Capacity	藤本
2013/2/11	総括／戦略策定	On-going Cooperation Project with SCA	東
2013/2/11	経済分析 / マーケティング	Business of Shipping Mainly Focused on Bulk Carriers	中島
2013/2/12	経済分析 / マーケティング	Bird's eyes view of World Container Business	舘野
2013/2/13	需要予測	Foundation and Expected Functions of Economic Unit, SCA	吉田
2013/2/14	需要予測	Statistics Data Required in Demand Forecasting	加藤
2013/2/16	施設計画	Various Dredging Methods	藤本
2013/2/16	総括／戦略策定	Planning of Infrastructure Development	東
2013/2/17	国際海運	Comparison of Features between the Suez and Panama Canal (1)	小舟
2013/2/18	財務分析	Comparison of Tariff between the Suez and Panama Canal (Container Vessels)	宮脇
2013/2/19	需要予測	Basics of Cargo Demand Forecasting	柴崎
2013/2/20	国際海運	Comparison of Features between the Suez and Panama Canal (2)	小舟
2013/2/21	経済分析 / マーケティング	Job assignment of EU	舘野
2013/2/25	経済分析 / マーケティング	On the Business of Shipping (1)	舘野
2013/2/26	需要予測	Review on Bulk Carrier Forecast	柴崎
2013/2/27	需要予測	Review on Bulk Carrier Forecast(1)	柴崎
2013/2/28	需要予測	Review on Bulk Carrier Forecast(2)	柴崎
2013/3/1	需要予測	Review on Bulk Carrier Forecast(3)	柴崎
2013/3/2	経済分析 / マーケティング	On the Business of Shipping (2)	舘野



ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ黒田専門家 (2012/09/24)



ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ館野専門家 (2012/09/11)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ加藤専門家(2012/09/13)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ大石専門家(2012/09/23)



ワークショップ(国際海運)
JICA 技プロ小舟専門家(2012/09/29)



ワークショップ (航路安全・施設計画)
JICA 技プロ矢吹専門家・藤本(2012/09/29)



ワークショップ(国際海運)
JICA 技プロ中島専門家(2012/10/23)



ワークショップ (インフラ整備計画)
(JICA 技プロ東総括)



ワークショップ (マーケティング)
(JICA 技プロ館野専門家)



ワークショップ (国際海運)
(JICA 技プロ中島専門家)



ワークショップ (需要予測)
(JICA 技プロ吉田専門家)



ワークショップ (需要予測)
(JICA 技プロ加藤専門家)

ワークショップ（第4次現地調査）

日付	業務担当	内容	担当者
2014/4/10	経済分析 / マーケティング	Emergence of P3 Network	舘野
2014/4/10	需要予測	Route Choice Behavior for Suez Canal Transit (1)	柴崎
2012/4/14	経済分析 / マーケティング	Full Swing Development of ULCS	舘野
2012/4/15	需要予測	Model Simulation (Container(1))	柴崎
2012/4/16	需要予測	Model Simulation (LNG,LPG(1))	柴崎
2012/4/16	経済分析 / マーケティング	US Government Report on Panama Canal Expansion Study	舘野
2012/4/17	需要予測	Model Simulation (LNG,LPG(2))	柴崎
2012/4/22	経済分析 / マーケティング	New Economy and World Shipping Industry	舘野
2012/4/28	需要予測	Model Simulation (Container(2))	柴崎
2012/4/29	需要予測	Route Choice Behavior for Suez Canal Transit (2)	柴崎



ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ館野専門家 (2014/04/10)



ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ館野専門家 (2014/04/14)



ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ館野専門家 (2014/04/16)



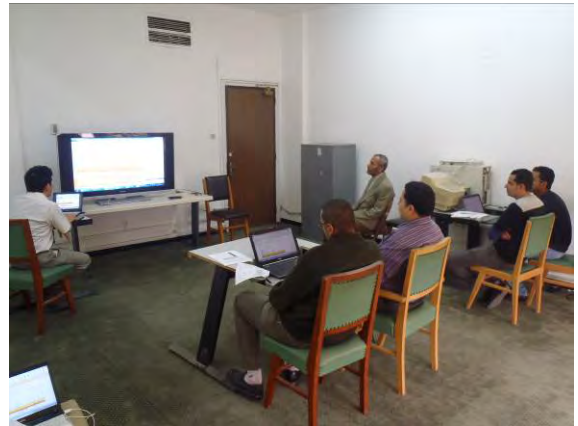
ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ館野専門家 (2014/04/22)



オペレーションシステム
プロジェクトメンバー(2014/04/27)



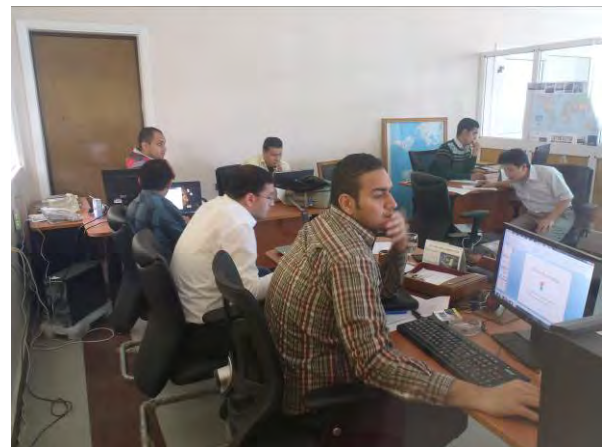
ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ柴崎専門家(2014/4/10)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ柴崎専門家(2014/4/15)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ柴崎専門家(2014/4/16)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ柴崎専門家(2014/4/17)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ柴崎専門家(2014/4/28)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ柴崎専門家(2014/4/29)



ディスカッション (戦略策定/本邦研修)
JICA 技プロ 東総括(2014/4/27)



ディスカッション (戦略策定)
JICA 技プロ 東総括(2014/4/29)



運営委員会(戦略策定)
JICA 技プロ 東総括(2014/4/29)



ディスカッション(需要予測)
JICA 技プロ 柴崎専門家(2014/04/13)



ディスカッション(施設計画)
JICA 技プロ 藤本 (2014/04/28)



ワークショップ（第5次現地調査）

日付	業務担当	内容	担当者
2014/11/3	経済分析 / マーケティング	Story of Two Canals	舘野
2014/11/5	需要予測	Model Development Route Choice (1)	柴崎
2014/11/6	付加価値サービス	Value Added Services in Suez Canal Region(1)	東
2014/11/6	需要予測	Route Choice Behavior for Suez Canal Transit	加藤
2014/11/9	需要予測	Model Development Route Choice (2)	柴崎
2014/11/9	共同現地調査	Northern Sea Route	柴崎
2014/11/10	経済分析 / マーケティング	New Alliances Era	舘野
2014/11/10	施設計画	The Safe and Efficient Transit Service	藤本
2014/11/12	経済分析 / マーケティング	Toll Setting Policy & Strategy (1)	黒田
2014/11/12	付加価値サービス	Value Added Services in Suez Canal Region(2)	東
2014/11/13	経済分析 / マーケティング	Toll Setting Policy & Strategy (2)	黒田
2014/11/13	国際海運	Somali Piracy	中島
2014/11/25	国際海運	Changes in the East-West Dry/Liquid Bulk Trades	中島
2014/12/2	財務分析	Toll Setting Policy (Practical Policy)	黒田・宮脇



ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ 館野専門家 (2014/11/3)



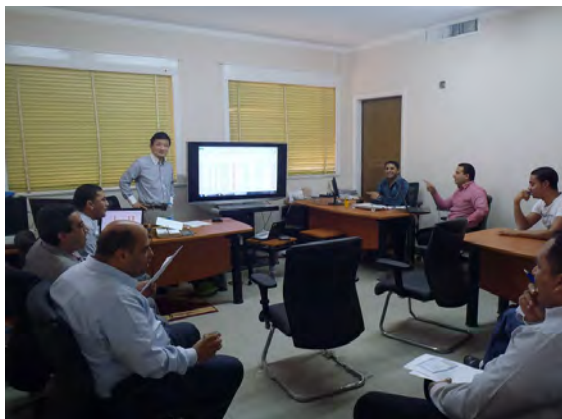
ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ 柴崎専門家 (2014/11/5)



ワークショップ(付加価値サービス)
JICA 技プロ 東総括 (2014/11/6)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ 加藤専門家 (2014/11/6)



ワークショップ(需要予測)
JICA 技プロ 柴崎専門家(2014/11/9)



ワークショップ(共同現地調査)
JICA 技プロ 柴崎専門家 (2014/11/9)



ワークショップ(経済分析/マーケット)
JICA 技プロ 館野専門家 (2014/11/10)



ワークショップ(施設計画)
JICA 技プロ 藤本(2014/11/10)



ワークショップ((経済分析/マーケット)
JICA 技プロ 黒田専門家 (2014/11/12)



ワークショップ(付加価値サービス)
JICA 技プロ 東総括 (2014/11/12)



ワークショップ((経済分析/マーケット)
JICA 技プロ 黒田/宮脇専門家(2014/12/2)



ワークショップ(国際海運)
JICA 技プロ 中島専門家 (2014/11/13)



ディスカッション(戦略策定)
JICA 技プロ 東総括 (2014/11/13)



ディスカッション(戦略策定)
JICA 技プロ 東総括(2014/11/30)



ディスカッション(需要予測)
JICA 技プロ 加藤専門家 (2014/11/3)



ディスカッション(パナマ運河庁)
JICA 技プロ 東総括 (2014/11/4)



ディスカッション(パナマ運河庁)
Mr.Oscar (2014/11/4)



ディスカッション(JICA/日本大使館)
JICA 技プロ 東総括(2014/11/5)



ディスカッション(スエズ拡張計画)
Mr.Fathy (2014/11/6)

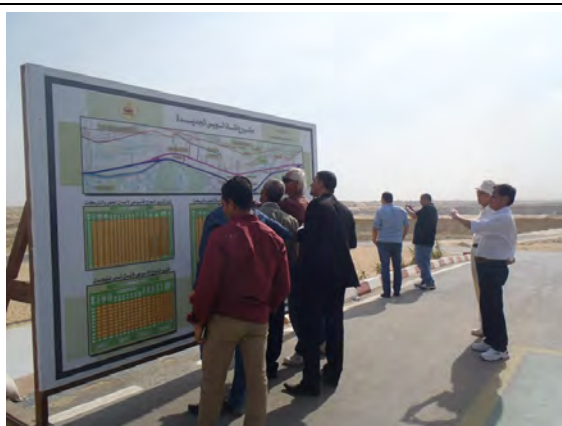


ディスカッション(共同現地調査)
Mr.ELsayed (2014/11/9)



ディスカッション(需要予測)
JICA 技プロ 加藤専門家 (2014/11/9)

・その他



現場視察(新規バイパス)
JICA プロジェクトチーム(2014/11/11)



現場視察(新規バイパス)
JICA プロジェクトチーム(2014/11/11)

ワークショップ（第6次現地調査）

日付	業務担当	内容	担当者
2015/2/5	総括/戦略策定	Suez Canal Strategy (Draft)	東
2015/2/9	総括/戦略策定	Suez Canal Strategy (Draft)	東
2015/2/12	総括/戦略策定	Suez Canal Strategy (Draft)	東
2015/2/12	財務分析	Consideration on Container Tariff Setting - 3	黒田・宮脇
2015/2/15	総括/戦略策定	Suez Canal Strategy (Draft)	東
2015/2/15	財務分析	Analogy of Tax Cut and Toll Effects	黒田
2015/2/18	総括/戦略策定	Suez Canal Strategy (Draft)	東



ディスカッション① (スエズ運河戦略)
JICA 技プロ 東総括 (2015/2/5)



ディスカッション② (スエズ運河戦略)
JICA 技プロ 東総括 (2015/2/9)



ディスカッション③ (スエズ運河戦略)
JICA 技プロ 東総括 (2015/2/12)



ディスカッション④ (スエズ運河戦略)
JICA 技プロ 東総括 (2015/2/15)



ワークショップ (財務分析)
JICA 技プロ 宮脇専門家 (2015/2/12)



ワークショップ (財務分析)
JICA 技プロ 黒田専門家 (2015/2/15)



ディスカッション (通航料金設定)
JICA 技プロ 黒田専門家 (2015/2/15)



セミナー(スエズ運河戦略)
JICA 技プロ 東総括 (2015/2/18)

その他



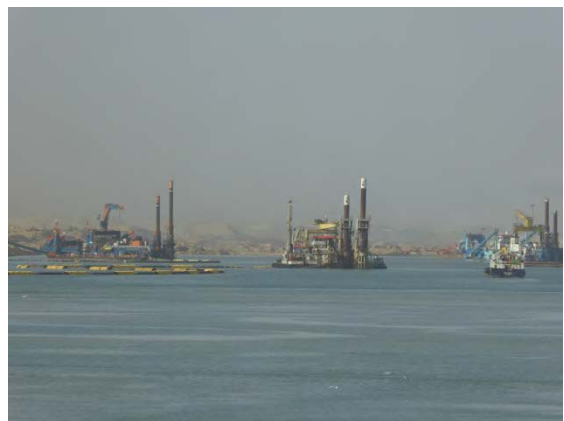
現場視察(新規アクセスチャンネル)
JICA プロジェクトチーム(2015/2/4)



現場視察(新規バイパス南側)
JICA プロジェクトチーム(2015/2/4)



S 現場視察(新規バイパス北側)
JICA プロジェクトチーム(2015/2/4)



現場視察(新規バイパス北側)
JICA プロジェクトチーム(2015/2/4)

3-3 合同セミナー

3-3-1 目的

JICA プロジェクトチームとエコノミックユニット（EU）は、SCA 関連組織の関係者を招き、合同セミナーを開催した。

3-3-2 日時

2月24日（日）

3-3-3 開催地

SCA トレーニング・シミュレーションセンター

3-3-4 プログラム

	時間	項目	担当者
1	10:00-10:05	SCA 開会挨拶	SCA 計画研究部長
2	10:05-10:10	JICA 開会挨拶	JICA 事務所長
3	10:10-10:30	協力プロジェクトの実施状況報告	東（総括）
4	10:30-11:10	国際海運を巡る環境	舘野（経済分析/マーケット）
5	11:10-11:50	スエズ運河岸の現在の状況	レズク（C/P）
6	11:50-12:30	パナマ運河拡張の予想される影響	小舟（国際海運）
7	12:30-13:00	スエズ運河岸総裁との会議	
8	13:00-13:20	需要予測モデルの基本構造	吉田（需要予測）
9	13:20-14:00	需要予測のいくつかの事例	柴崎（需要予測）
10	14:00-14:05	閉会の辞	東
11	14:05-	昼食	

合同セミナーで使用された資料は、付録Ⅱに添付する。

3-3-5 参加者

表 3-3 に合同セミナーの参加者を示す。

表 3-3 合同セミナー参加者（2013年2月24日）

		Name	Possition
1	(JAPAN)	Eng. Naohiro AKAGI	Embassy of Japan (First Sec.)
2		Mr. Takuyou AWA	ditto
3		Mr. Hideki MATSUNAGA	JICA Office (Chief Representative)
4		Mr. Taro AZUMA	ditto (Senior Rep.)
5		Mr. Toshio AZUMA	Project Team
6		Mr. Yoshihisa TATENO	Project Team
7		Dr. Koji KOBUNE	Project Team
8		Dr. Tetsuo YOSHIDA	Project Team
9		Dr. Ryuichi SHIBASAKI	Project Team
10		Mr. Nobuhide MIYAWAKI	Project Team
11	(EGYPT)	Eng. Nader Abbas Mohamed	Director, Shipyards Dept.
12		Eng. Mohamed Elzogby	Director, Works Dept.
13		Eng. Mohamed Nashat Elmenery	Director, Management Dept.
14		Eng. Ahmed Mohammed Elmanakhly	Director, Transit Dept.
15		Eng. Tarek Ahmed Shafik Elzanfaly	Director, Dredging Dept.
16		Eng. Hossam M. El-Kodary	Director, Planning & Research Dept.
17		Eng. Manal Abdel-Raouf Mehrem	Director, Engineering Dept.
18		Eng. Mohamed Ibrahim Osman	Director, Procurement Dept.
19		Eng. Mohamed Alaa El-din Ezzat	Director, Companies Dept.
20		Eng. Abdel-Mohsen Ahmed El-taybany	Director, Personal Affairs Dept.
21		Eng. Mohamed Emary Mohamed Awad	Director, Service Dept.
22		Acc. Mohamed Hussein Zaghlol	Director, Financial Dept.
23		Eng. AMRO Saddik	Deputy Director
24		Eng. Omer Saiam	Deputy Director
25		Mr. Mohamed Abdel Azeen	Member of Tolls Committee
26		Eng. Mohammed Anany	Member of Tolls Committee
27		Mr. Fatma El Gamal	Member of Tolls Committee
28		Mr. Essam Hassan	Member of Tolls Committee
29		Eng. Gamal Sheta	Member of Tolls Committee
30		Dr. Abdel Tawab Hagag	Advisor for Chairman
31		Mr. Mahmoud A. rezk	Economic Unit
32		Mr. Yahia Rushdy Gharib	Economic Unit
33		Mr. Elsayed Abou-el Fetouh Elsayed	Economic Unit
34		Mr. Fathy Abd El-Bary	Economic Unit
35		Mr. Refaat Saad Arnoot	Economic Unit
36		Mr. Hossam Abdel Karim	Economic Unit
37		Mr. Emad Hamdy Fawaz	Economic Unit
38		Mr. Hatem Abd-el Gawad	Economic Unit
39		Mr. Zidan salim Soliman	Economic Unit
40		Mr. Mohmed Abd-el Wahab Awad Askar	Economic Unit
41		Mr. Assem Ahmed Zenhom	Economic Unit
42		Mr. Ahmed Mohamed Hussein	Economic Unit
43		Mr. Anas raffat Rakha	Economic Unit
44		Mr. Samer Hassan Okasha	Economic Unit
45		Mr. Ahmed Elsayed Mohamed Elshazly	Economic Unit
46		Mr. Ahmed Abdel Monen Abdel Rahman	Economic Unit
47		Mr. Hussein Ashry Ahmad	Economic Unit
48		Mr. Mohamed Mahmoud Heral	Economic Unit



スエズ運河庁の現在の状況
スエズ運河庁 リズク次長



国際海運を巡る環境
JICA 技プロ 館野専門家



パナマ運河拡張の予想される影響
JICA 技プロ 小舟専門家



S 需要予測のいくつかの事例
JICA 技プロ 柴崎専門家

3-4 本邦研修 (OJT)

3-4-1 付加価値サービス(OJT)

(1) 参加者

本邦研修 (OJT) の参加者を次に示す.

Table 3-4 付加価値サービス (OJT) の参加者

役職/担当	名前
計画調査研究部長	Eng. Nabil A. M. El-Tanbedawi
計画調査研究部 次長	Mr. El-Sayed Marei

(2) 日程

本邦研修 (OJT) の日程を以下に示す.

表 3-5 本邦研修 (OJT) 日程表

研修詳細計画書(案)				2012年10月10日		JICA担当課		
研修コース名	エジプト国スエズ運河戦略強化プロジェクト (将来開発計画・付加価値サービス研修)			研修コース番号	2012/10/13	～	2012/10/31	
研修期間				受入形態	個別研修		担当	
				研修員数	2 人			
日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学生担当者等		講師 使用 費種	研修場所	宿泊先
				氏名	所属先及び職位	連絡先		
10/13(土)	～		エジプト発					ホテルサンルートプラザ新宿 03-3375-3211
10/14(日)	～		日本発(休日)					
10/15(月)	9:30～12:00		規定ブリーフィング				JICA東京	
	13:30～14:00		移動(JICA東京→JICA)					
	14:00～16:00		JICA表敬(プログラムオリエンテーション)	鈴木洋	JICA経済基盤開発課	03-5226-8129	英 JICA本部	ホテルサンルートプラザ新宿 03-3375-3211
	16:00～16:30		移動(JICA→MLIT)					
	16:30～17:00		国土交通省港湾局長表敬訪問	國場	国土交通省港湾局 国際企画室	03-5253-8679	日英 国土交通省港湾局	
	17:00～17:30		移動(MLIT→OCDI)歓迎会					
10/16(火)	9:00～10:00		移動(宿舎→商船三井)					
	10:00～12:00	講義	株式会社 商船三井	高田英一	(株)商船三井 営業推進室	03-3587-7039	英 MOL本社(虎の門)	
	12:00～12:30		移動(商船三井→船主協会)					
	12:30～15:00	発表	日本船主協会との意見交換	布衣崇	(株)商船三井 経営企画部	03-3587-6510	英 日本船主協会	
10/17(水)	9:00～10:00		移動(JICA東京→三井造船千葉事業所)					
	10:00～16:30	講義	三井造船千葉事業所	木下部	三井造船(株)事業所 船務部	03-3544-3942	日英 三井造船千葉事業所	
	16:30～17:30		移動(三井造船千葉事業所→宿舎)					
10/18(木)	9:00～10:30		移動(宿舎→東京湾海上交通センター(横須賀))					
	10:30～12:00	講義	東京湾海上交通センター(横須賀)	川野直樹	東京湾海上交通センター	046-842-0118 【内線6825】	日英 東京湾海上交通センター	
	12:00～14:30		移動					
	14:30～16:00	見学	独立行政法人海洋研究開発機構	武内	独立行政法人海洋研究開発機構	046-867-9053	英 海洋研究開発機構	
	16:00～18:00		移動(横須賀→宿舎)					
10/19(金)	9:00～9:30		移動(JICA東京→五洋建設)			080-1010-7743		
	9:30～12:00	講義	五洋建設		国際事業本部	03-3817-7182	日英 五洋本社(飯田橋)	
	12:00～14:00		移動(五洋建設→五洋建設技術研究所(那須塩原))			080-1010-7745		
	14:00～16:30	見学	五洋建設技術研究所		技術研究所	03-3817-7182	日英 技術研究所(那須塩原)	
	16:30～18:00		移動(五洋建設技術研究所(那須塩原)→JICA東京)			080-1010-7747		
10/20(土)	～		休日					同
10/21(日)	～		移動(JICA東京→南紀白浜空港(和歌山))					ダイワロイネット和歌山
	13:00～							
10/22(月)	9:00～9:30		移動(和歌山→御坊)			03-5570-5931		
	9:30～10:00		移動(御坊→紀伊由良事業所)					
	10:00～16:00	見学	三井造船由良修繕部	木下部	三井造船(株)事業所 船務部	03-3544-3942	日英 由良修繕部	ダイワロイネット和歌山
	16:00～17:00		移動(紀伊由良事業所→和歌山)			03-5570-5931		
10/23(火)			移動(和歌山→新大阪→岡山→高松)					高松緊急イン
10/24(水)	9:00～10:00		移動(高松→高松港湾空港事務所/四国地電)					
	10:00～12:00	見学	高松港・備前瀬戸航路視察	瀧實所	四国地方整備局高松港空港整備課	087-851-5522	日英 監督測量船(せとかぜ)	ホテルブルーウェーブイン小倉
	12:00～16:00		移動(四国地電→北九州)					
10/25(木)	8:20～9:00		移動(北九州→関門航路事務所太刀港出電死)					
	10:00～13:00	講義	関門航路事務所(海翔丸乗船)	田中尊	九州地方整備局 関門航路事務所	093-512-8091	日英 海翔丸	
	13:00～15:00	見学	河田港(日産自動車九州(株))	田中尊	九州地方整備局 関門航路事務所	093-512-8091	日英 日産自動車九州	
	15:30～16:30		移動(河田→北九州)					
10/26(金)	9:45～10:00		移動(北九州→関門海上交通センター)					
	10:00～11:30	講義	関門海上交通センター	馬場真	関門海峡海上交通センター	093-381-6699 【内線6825】	日英 関門海上交通センター	
	11:40～13:00		移動(関門海上交通センター→)					
	13:10～14:10	見学	日本貨物鉄道(株)北九州貨物ターミナル	田中尊	九州地方整備局 関門航路事務所	093-512-8091	日英	
	14:40～16:00	見学	わからく資料館	田中尊	九州地方整備局 関門航路事務所	093-512-8091	日英	
10/27(土)	10:00～		移動(北九州→宿舎)					ホテルサンルートプラザ新宿 03-3375-3211
10/28(日)	～		休日					
10/29(月)	9:00～10:00		移動(宿舎→横浜市港湾局)					
	10:00～11:30	講義	横浜港概要	今村良	横浜市港湾局みなと部 港湾整備課	045-671-7188	日英 横浜市港湾局6F 応接室	
	13:30～14:15	見学	横浜港視察(海上より)				日英 おおとり(船舶)	
	14:15～14:45		移動(大規模埠頭ビル1F→埠頭ビル)					
	14:45～15:45	見学	物流施設視察	松本	横浜市港湾局みなと部 港湾整備課	045-671-7188	日英 ふ頭ビル	*JICAバス
	15:45～17:30		移動(横浜市→三菱総研本社)					
10/30(火)	11:00～11:30		移動(宿舎→JICA)					
	11:30～13:00	発表	P 研修報告・評議会	藤本	国際港湾開発センター	03-5570-5931	英 JICA東京	
	15:30～		ホテル発(帰国)					
10/31(水)			エジプト着					

(3) 本邦研修 (OJT) 状況



表敬
(JICA 本部)



港湾局長表敬
(国土交通省)



事業開発本部表敬
(三井造船)



船舶ドックヤード
(三井造船)



東京湾海上交通センター
(JCG 東京湾海上交通センター)



浚渫事業戦略
(五洋建設)



五洋建設技術研究所
(五洋建設)



由良船舶修繕ヤード
(三井造船由良事業所)



由良船舶修繕ヤード
(三井造船由良事業所)



高松港湾空港整備事務所
(四国地方整備局)



関門航路事務所
(九州地方整備局)



関門海上交通センター
(関門海上交通センター)

(4) 本邦研修 (OJT) の評価

トレーニング名	付加価値サービス
研修期間	2012/10/14 ~2012/10/30
対象人数	2名

プログラムの目的

参加者は、今後のスエズ運河の開発計画と付加価値サービスのために国土交通省、船社、その他関連機関から特定の話題や関連する最新の情報やノウハウを収集する。

<案件目標達成度自己評価>

Q1-1. 案件目標について、あなた自身の達成状況をどう評価しますか？

← ← 十分 達成度			不十分 → →	
□4	□3	□2	□1	
1	1			

Q1-2. 上記達成度についてのコメント

- *理論的には、完璧に評価できる。(Eng. Nabil)
- *私の専門である経済教育と経済海事で経験している。(Mr. Marei)

Q2. プログラムで有益であったと思われる内容は何かですか？

- *ほぼすべての項目で有益である。(Eng. Nabil)
- *JSA との議論の中で、現実に直面している通行料の問題を理解した。(Mr. Marei)

Q3). プログラムの改善のために何か提言がありますか？

- * 今後同様なプログラムに参加するにおいて、イスラム宗教上、祝日（金曜日）・祝祭日程考慮する必要がある。(Eng. Nabil)
- *プログラムは大変充実していたが、スケジュールを詰めすぎであるため、肉体的にきつかった。(Mr. Marei)

Q4. 日本の知・経験の適用可能性についてお聞かせください。

Q4-1. 研修を通じて習得した日本の知の中で、自国の問題解決に貢献しうる知識（手法、業務・組織、制度、概念）、技術、技能を挙げてください。

- *組織、システムは、私の国で問題を解決する最も重要な鍵となります。(Eng. Nabil)
- *私たちのシステム的な問題を解決するために、日本のシステムのような非常に有用なシステムを得る必要があります。(Mr. Marei)

Q4-2. なぜそれが有用であるか述べてください。

- *それぞれ1つに直面するより、組織化するシステムに改善する必要があります。(Eng. Nabil)
- *良いシステムによって、私たちは直面している問題に解決することができます。(Mr. Marei)

Q4-3 どのように自国に採用もしくは適用しますか？

*私は世界で最も偉大な国の 1 つである日本からそれらのシステム要素を扱うことで今後の問題に解決することを試みる。(Eng. Nabil)

*スエズ運河庁も特別に良いシステムですが、今後これは必要なシステムとしてすべての国に組織化され、組織間でリンクされていく必要がある。(Mr. Marei)

3-4-2 コンテナ需要予測モデルの本邦研修（OJT）

(1) 対象者

本邦研修（OJT）の対象者を以下に示す。

表 3-6 コンテナ需要予測モデルの本邦研修（OJT）

役職/ (担当)	名前
(コンテナ船/ 自動車専用船)	Mr. Zidan Salim Soliman
(ドライバルク)	Mr. Mohamed Abd-el Wahab Awad Askar

(2) 日程

本邦研修（OJT）の日程を以下に示す。

(3) 本邦研修 (OJT) 状況



プログラム オリエンテーション
(JICA 本部)



日本の港湾行政
(国土交通省港湾局)



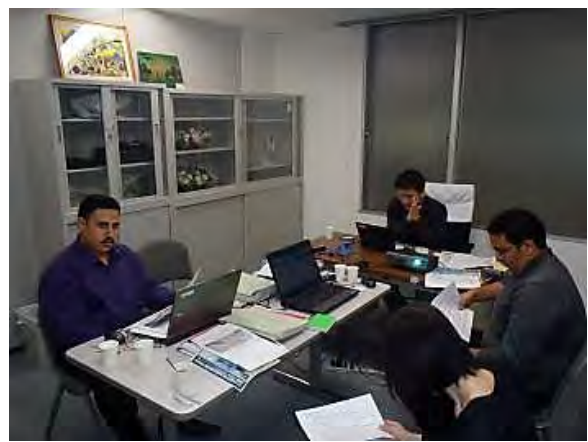
需要予測モデル紹介
(JICA 技プロ 加藤専門家)



コンテナターミナルの戦略
(日本郵船)



コンテナターミナルの運営
(JICA 技プロ 館野専門家)



コンテナ船需要予測
(JICA 技プロ 柴崎専門家)



コンテナ船需要予測
(JICA 技プロ 柴崎専門家)



海賊に関する地理的分析
(東京海洋大学)



航路の安全性評価
(JICA 技プロ 矢吹専門家)



船舶オペレーティングシステム
(東京海洋大学)



ナビゲーションシステム
(JICA 技プロ 矢吹専門家)



Exchange of opinion
(東京工業大学大岡山キャンパス)

(4) 研修コース評価

研修コース名	エジプト港湾経済研修 (一般コンテナ需要予測モデル・コンテナ船料金設定)
受入期間	2012/11/11～ 2012/12/7
対象人数	2人

-パフォーマンスの個別評価 -

Q1-1. 設定された到達目標とニーズの適合について

← 適切である		不適切である →			X
5	4	3	2	1	
2					

回答が1、2の場合、改善を要す点

Q1-2. 研修プログラムで最も有益であった研修項目

- ・コンテナ船料金設定システムの理論を理解します。(Mr. Askar)
- ・スエズ運河通航需要予測モデルを理解する。(Mr. Zidan)

Q1-3. 今後追加すべき研修項目

- ・太平洋と極東などのヨーロッパルートを航行して貿易の分析を行う。(Mr. Askar)
- ・運賃と別の貿易ルートの貨物の価値に関心がある。(Mr. Zidan)

Q1-4. 今後削除すべき研修項目

- ・特にない (Mr. Askar, Mr. Zidan)

Q1-5. 研修期間について

← 適切である		不適切である →			X
5	4	3	2	1	
	1	1			

回答が1、2の場合、その理由

Q1-5. 講師の講義プレゼンテーションについて

← 良い					悪い →	X
5	4	3	2	1		
	2					

回答が 1、2 の場合、その理由

Q1-6. テキスト、研修機材、講義施設について

	← 良い					悪い →	X
	5	4	3	2	1		
テキスト	2						
研修機材	2						
講義施設	2						

回答が 1、2 の場合、その理由

Q1-7. 研修運営管理について

	← 良い					悪い →	X
	5	4	3	2	1		
JICA	2						
受入機関	2						
コーディネーター	2						

Q1-8. 期待充足度

← 満足					不満足 →	X
5	4	3	2	1		
	2					

回答が 1、2 の場合、その理由

到達目標達成度

目標 1 スエズ運河通航の需要予測モデルの理解とモデルの利用のための機能改善を認識してもらう。

Q2-1. 到達目標 1 の達成度

	← 十分達成できている 達成していない →					X
	5	4	3	2	1	
研修実施前			2			
研修実施後		2				

回答が 3、4、5 の場合、今回の研修で得た情報・知識は、業務に活用可能か。

← 十分活用出来る 活用できない →					X
5	4	3	2	1	
1	1				

回答が 4、5 の場合、業務における具体的な活用内容及び方法

- ・ 将来の貿易の動向とこのパターンかどうかを変更するかどうかを評価するために、私たちにとって有効である (Mr. Askar)
- ・ スエズ運河の将来の貿易を引き付けることを推定するためにもこのモデルを使用します。 (Mr. Zidan)

回答が 1、2 の場合、その理由

目標 2 コンテナ船通航料金設定は、理論に基づき料金設定を効率的に行うため。

Q2-2. 到達目標 2 の達成度

	← 十分達成できている 達成していない →					X
	5	4	3	2	1	
研修実施前			2			
研修実施後		2				

Q2-3. 回答が 3、4、5 の場合、今回の研修で得た情報・知識は、業務に活用可能か

← 十分活用出来る 活用できない →					X
5	4	3	2	1	
1	1				

回答が 4、5 の場合、業務における具体的な活用内容及び方法

- ・ 私たちへ提供するための新しい技術設定関税(Mr. Askar)
- ・ スエズ運河とその顧客に適切な価格政策を導きだすため(Mr. Zidan)

回答が 1、2 の場合、その理由

II. その他

JICA のブリーフィングについて

← 良い 悪い →					X
5	4	3	2	1	
2					

回答が 1、2 の場合、その理由

Q 3-2. ジェネラルオリエンテーションについて

← 良い 悪い →					X
5	4	3	2	1	
2					

回答が 1、2 の場合、その理由

--

Q 3-3. 日本の印象

← 好ましい		好ましくない →			X
5	4	3	2	1	
2					

回答が 1、2 の場合、その理由

--

回答が 4、5 の場合、その理由

<ul style="list-style-type: none"> ・ 他文化や恒久的な欲望の達成の尊重、よく組織化された人々 (Mr. Askar) ・ 他人の意見を尊重し、チームとしての仕事に徹する (Mr. Zidan)
--

その他コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練期間の延長は、非常に集中力を欠く (Mr. Askar) ・ 冬は非常に寒いので、トレーニングの時期を選択します (Mr. Zidan)

本邦研修 (OJT) にて利用したすべての書類は、付録 II に添付する。

3-4-3 コンテナ需要予測モデルの本邦研修 (OJT)**(1) 対象者**

本邦研修 (OJT) の対象者を以下に示す。

表 3-8 コンテナ需要予測モデルの本邦研修 (OJT)

役職/(担当)	名前
計画調査研究部 次長	Mr. Yahia Rushdy Gharib
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Elsayed Abou-el-Fetouh Elsayed
(リキッドバルク)	Mr. Fathy Abd El-Bary
(ドライバルク)	Mr. Emad Hamdy Fawaz

(2) 日程

本邦研修 (OJT) の日程を以下に示す。

表 3-9 需要予測モデルの本邦研修 (OJT)

研修詳細計画書										
研修コース名		エジプト港湾経済研修(II)								JICA担当課
研修コース番号										担当
研修期間	2013/5/12	～	2013/6/7	研修員数	4	人	2013年6月4日			
日付	時刻	形態	研修内容	講師又は見学生担当者等			講師 使用言語	研修場所	宿泊先	
				氏名	所属先及び職位	連絡先				
5/12(日)			成田来日							
5/13(月)	9:30 ~ 12:00		JICAブリーフィング	都築氏	JICA東京	03-3485-7641				
	13:30 ~ 14:30		移動(JICA東京-JICA本部)							
	14:30 ~ 15:30		JICA表敬 プログラムオリエンテーション	鈴木氏 (中嶋氏) 大藤氏	JICA技術アドバイザー-専門家 JICA経済基礎開発部-JICA専門員 国土交通省港湾局	03-5570-5931 03-5226-8129 03-5253-8679	英 日	JICA本部 会議室(111)	JICA 東京	
	16:00 ~ 16:30		国交省表敬							
	16:45 ~ 17:00		OCDI表敬	岡田氏	OCDI理事長	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)		
5/14(火)	10:30 ~ 12:00	講義	マネジメント理論	館野氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)	JICA 東京	
	13:30 ~ 16:30	講義	スエズ運河マネジメントの課題	館野氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)		
5/15(水)	10:30 ~ 12:00	講義	邦船社との意見交換会	中島氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	日本船主協会(本部)	JICA 東京	
	13:30 ~ 16:00	講義	商船三井本社	中島氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	商船三井(本社)		
5/16(木)	10:00 ~ 12:00	講義	コンテナ船・バルク船(ドライ・リキッド)ビジネスの戦略	中島氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	商船三井(本社)	JICA 東京	
	13:30 ~ 16:30	見学	東京港視察、みなと館視察	船川氏	東京都	03-5320-5612	日	東京港		
5/17(金)	10:30 ~ 12:00	講義	交通需要予測手法(世界経済の動向)	加藤氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	三菱総研本社	JICA 東京	
	13:30 ~ 16:30	講義	交通需要予測手法(サプライチェーン・マネジメント)	加藤氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	三菱総研本社		
5/18(土)	10:00 ~ 12:00		移動(JICA東京-JICA横浜)						JICA 横浜	
5/19(日)			休日						JICA 横浜	
5/20(月)	10:45 ~ 11:15	講義	国総研概要説明	鮫島氏	国総研企画調整課	046-844-5019	日	国総研 3F 第1.2会議室	JICA 横浜	
	13:30 ~ 15:00	講義	港湾物流に関わる統計・データ	渡部氏	港湾システム研究室	046-844-5028	日	国総研 3F 第1.2会議室		
5/21(火)	10:00 ~ 11:30	講義	次世代航路基準について	安部氏	港湾計画研究室	046-844-5027	英	国総研3F 第1.2会議室	JICA 横浜	
	11:30 ~ 11:45		国総研(副所長)表敬							
	13:00 ~ 15:00	講義	船舶諸元と係留施設計画	安部氏	港湾計画研究室	046-844-5027	英	国総研3F 第1.2会議室		
	15:00 ~ 17:30	実習	船舶諸元分析演習	安部氏	港湾計画研究室	046-844-5027	英	国総研3F 第1.2会議室		
5/22(水)	10:00 ~ 12:00	講義	港空研の概要説明	黒木氏	港空研企画管理部企画課	046-844-5040	日英	港空研(久里浜)	JICA 横浜	
	13:00 ~ 14:00	見学	港空研の施設見学	小澤氏	港空研企画管理部企画課	046-844-5040	日英	港空研(久里浜)		
5/23(木)			移動							
	10:00 ~ 11:30	講義	横浜市港概要	今村氏	横浜市港湾局みなと賑わい振興部 賑わい振興課長	045-651-7996	日	横浜市港湾局局長	JICA 東京	
	13:30 ~ 14:15	見学	横浜港(海上から)	"	"	045-651-7996	日	横浜市		
5/24(金)	13:30 ~ 15:00	講義	北極海航路(1)	酒井氏	海政策研究財団(OPRF)	03-5404-6828	英	OCDI(瀧池山王)	JICA 東京	
	15:00 ~ 17:00	講義	北極海航路(2)	大塚氏	北日本港湾コンサルタント(株)	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)		
5/25(土)			休日						JICA 東京	
5/26(日)			休日						JICA 東京	
5/27(月)	10:00 ~ 12:00	講義	世界のエネルギー供給見直し	呂氏	日本エネルギー経済研究所	03-5547-0215	英	エネ研 会議室10F(勝どき)	JICA 東京	
	14:30 ~ 16:00	見学	東京ガス(株)LNG視察	門口氏	東京ガス(株)	03-3201-6601	日	東京ガス(株)LNG視察基地		
5/28(火)	10:00 ~ 12:00	講義	交通需要予測手法(3)	吉田氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)	JICA 東京	
	13:30 ~ 16:30	講義	交通需要予測手法(4)	柴崎氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)		
5/29(水)	10:30 ~ 12:00	実習	交通需要予測演習(1)	柴崎氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)	JICA 東京	
	12:30 ~ 14:30	実習	意見交換会(東大田研)、スエズ運河プレゼン(SCA)	柴崎氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	東京大学キャンパス(本郷)		
5/30(木)	10:00 ~ 12:00	講義	シベリア横断鉄道の国際輸送	辻氏	環日本海経済研究所(ERINA)	0422-38-4790	英	OCDI(瀧池山王)	JICA 東京	
	13:30 ~ 17:00	実習	交通需要予測演習(2)	加藤・柴崎氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)		
5/31(金)	10:30 ~ 12:00	講義	通航料金設定理論(1)	宮脇・小舟氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	ides(御成門)	JICA 東京	
	13:30 ~ 16:30	講義	通航料金設定理論(2)	宮脇・小舟氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	ides(御成門)		
6/1(土)			休日						JICA 東京	
6/2(日)			休日						JICA 東京	
6/3(月)	10:00 ~ 12:00	講義	通航料金設定理論(3)	宮脇氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)	JICA 東京	
	13:30 ~ 16:00	講義	付加価値サービス	小舟氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)		
6/4(火)	10:00 ~ 12:00	実習	交通需要予測	柴崎氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)	JICA 東京	
	13:30 ~ 17:00	実習	研修成果報告準備(研修員による質問票の研修整理員への提出締切日)	中島氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	OCDI(瀧池山王)		
6/5(水)	10:00 ~ 12:00	実習	研修成果報告準備	中島氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	TIC	JICA 東京	
	13:30 ~ 17:00	実習	研修成果報告準備	中島氏	JICA技術アドバイザー-専門家	03-5570-5931	英	TIC		
6/6(木)	10:00 ~ 11:00	発表	報告、研修評価会、修了証書授与	柴崎・藤本氏	JICA経済基礎開発部 鈴木氏 (JICA東京・JICA技術アドバイザー)	03-5226-8129	英	JICA本部 会議室(109)	JICA 東京	
6/7(金)			成田離日							

(3) 本邦研修 (OJT) 状況



プログラムオリエンテーション
(JICA 本部)



港湾局表敬
(国土交通省)



OCDI 表敬
(OCDI)



マネージメント理論
(JICA 技プロ 館野専門家)



東京港視察
(東京都港湾局)



東京港視察
(東京都港湾局)



みなと館視察
(東京都)



交通需要予測手法
(JICA 技プロ 加藤専門家)



世界経済の動向
(MRI)



国総研の概要
(国土技術政策総合研究所)



港湾物流に関わる統計・データ
(国土技術政策総合研究所 渡辺室長)



次世代航路基準について
(国土技術政策総合研究所 安部室長)



国総研表敬
(国土技術政策総合研究所)



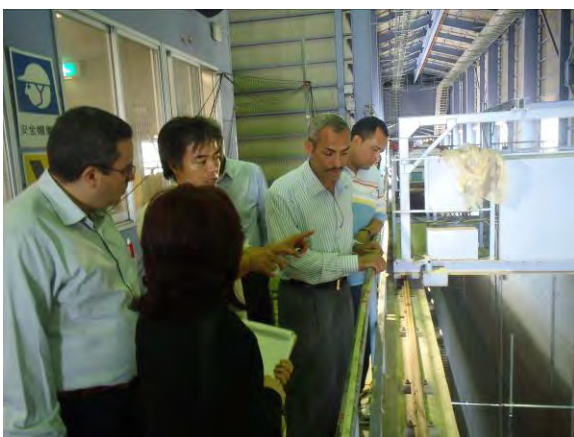
港空研の概要
(港湾空港技術研究所 黒木係長)



港空研の施設見学
(港湾空港技術研究所)



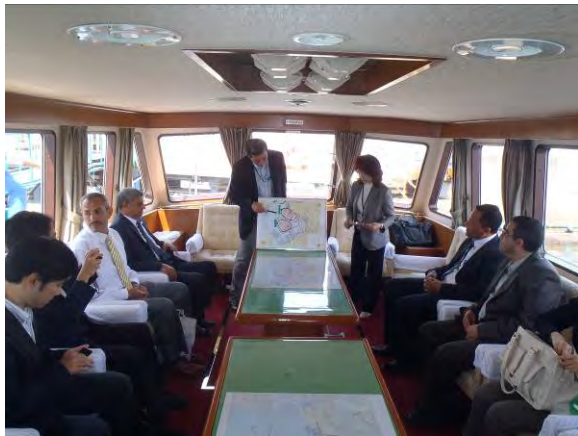
港空研の施設見学
(港湾空港技術研究所)



港空研の施設見学
(港湾空港技術研究所)



横浜港の概要
(横浜市港湾局)



横浜港視察
(横浜市港湾局)



大黒ふ頭コンテナターミナル
(横浜市港湾局)



YCC の概要
(横浜物流センター)



YCC 視察
(横浜物流センター)



北極海航路 (2)
(海洋政策研究財団 酒井チーム長)



北極海航路 (1)
(北日本港湾コンサルタント 大塚部長)



世界のエネルギー需給見通し
(日本エネルギー経済研究所)



根岸 LNG ターミナルの概要
(東京ガス(株)LNG 根岸基地)



LNG の概要
(東京ガス(株)LNG 根岸基地)



交通需要予測手法
(JICA 技プロ 吉田専門家)



交通需要予測手法
(JICA 技プロ 柴崎専門家)



東京大学との意見交換会
(東京大学 家田研究室)



スエズ運河プレゼン
(Mr.Elsayed (SCA))



交通需要予測演習 (1)
(JICA 技プロ 柴崎専門家)



シベリア鉄道の国際輸送
(ERINA 辻氏)



交通需要予測演習 (2)
(JICA 技プロ柴崎/加藤専門家)



通航料金設定理論 (1)
(JICA 技プロ小舟/宮脇専門家)



通航料金設定理論 (1)
(JICA 技プロ小舟/宮脇専門家)



付加価値サービス
(JICA 技プロ 小舟専門家)



交通需要予測
(JICA 技プロ 柴崎専門家)



研修評価会
(JICA 本部)



研修報告
Mr.Yahia/Elsayed/Fathy(SCA)



終了証書授与
(JICA 本部)



終了証書授与
(JICA 本部)

(4) 研修コース評価

研修コース名	港湾経済研修(Ⅱ)
受入期間	2013/ 05/12 ~ 2013/ 06/07
対象人数	4名

-パフォーマンスの個別評価-

◆ プログラムの到達目的

- ・スエズ運河通航量需要予測モデルの運用、小規模改良を自ら行えるようになること
- ・コンテナ船通航料金設定理論を理解し、料金検討作業を効率的に行えるようになること
- ・バルク船のビジネス戦略の認識を向上させること

Q1-1. 設定された到達目標とニーズの適合について

← 適切である		不適切である →			X
5	4	3	2	1	
2	2				

1. あなたもしくは所属組織が案件目標を達成する上で、プログラムのデザインは適切と思いますか？

← ← 適切である		不適切である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
2	2		

2. 研修期間は適切でしたか？

長い	適当	短い
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	

3. 本研修の参加者人数は適切と思いますか？

多い	適当	少ない
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	

4. 本研修において研修参加者の経験から学ぶことができましたか？

← ← できた		できない → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
1	3		

5. 視察や実習など直接的な経験を得る機会が十分ありましたか？

← ← 十分にある		不十分である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
2	2		

6. 討議やワークショップなど、主体的に参加する機会が十分ありましたか？

← ← 十分にある		不十分である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
2	2		

7. 講義の質は高く、理解しやすかったですか？

← ← 高い		低い → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
1	3		

8. テキストや研修教材は満足するものでしたか？

← ← 満足である		不満足である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
2	2		

Q9. 有益であったコンテンツ（科目）の記載とその理由を述べて下さい。

(1)特に有益であったコンテンツ（科目）	
<p>(Yehia) 日本船主協会とのミーティングについて</p> <p>海洋政策研究財団 (OPRF), 北日本港湾コンサルタント(株)とのミーティングについて</p> <p>(El sayed) 通航料金システムについて</p> <p>(Fathy) LNG の戦略について</p> <p>(Emad) バルク輸送と海賊対策について</p>	<p><理由></p> <p>スエズ運河岸の問題を抽出した。日本船主協会からのいくつかの質疑に対して、解答するとともに解決策も検討した。</p> <p>スエズ運河と競合関係にある北極海航路の影響について、現状を把握できた。</p> <p>コンテナ船の通航料金設定について、多くの対策を段階的に進めることができた。</p> <p>自身の仕事と直結しており、有益であった。</p> <p>自身の仕事と直結しており、有益であった。</p>
(2) 必要ではなかったコンテンツ（科目）	
<p>(Fathy) 特にない。</p> <p>(Emad) すべての科目が、必要であった。</p>	<p><理由></p>
(3) 扱われなかったが、含むべきコンテンツ（科目）	
<p>(Yehia) 研修のすべての科目が、大変重要であった。</p> <p>(El sayed) 船舶の諸元コスト分析</p>	<p><理由></p> <p>通航料金システムについて、メインなベース設定だけであった。</p>

(Fathy) 特になし	
(Emad) すべての項目がカバーされていた。	

10.本邦研修で得た日本の知識・経験は役立つと思いますか？

<input type="checkbox"/> A 3	はい、業務に直接的に活用することができる。
<input type="checkbox"/> B 1	直接的に活用することはできないが、業務に応用できる。
<input type="checkbox"/> C	直接的に活用、応用することはできないが、自分自身の参考になる。
<input type="checkbox"/> D	いいえ、全く役立たない。

<ファシリテーション>

11.疑問や困難があった際、もしくはアクションプランやレポート作成の際、日本側から助言が得られましたか？

← ← はい		いいえ → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
4			

12.目標を達成するための適切なファシリテーションを受けることができましたか？

← ← はい		いいえ → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
4			

13.研修監理員の通訳および研修監理サービス（調整・手配）には満足しましたか？

	← ← 良い		悪い → →	
■通訳	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	4			
■通訳の対応	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	4			

<研修を支える環境>

14. 宿泊施設に関する以下の項目について、満足であったかお答えください。

	← ← 良い				悪い → →	X
■JICA センターの設備	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/>	
	3	1				
■ホテル設備	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/>	
■JICA センターの食事	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/>	
	3	1				

Q1～Q14 に関して、改善のための提言

研修プログラムに協力して頂いた JICA ,OCDI, MRI ,Ides のプロジェクトメンバーと内田研修監理員へ感謝を申し上げたい。 (Yehia)

特にコメントはない。 (Fathy, Emad)

3-4-4 コンテナ需要予測モデルの本邦研修（OJT）

(1) 対象者

本邦研修（OJT）の対象者を以下に示す。

表 3-10 コンテナ需要予測モデルの本邦研修（OJT）

役職/(担当)	名前
(ドライバルク)	Mr. Refaat Saad Arnoot
(長距離輸送船)	Mr. Hossam Abdel Karim
(コンテナ船/自動車専用船)	Mr. Hatem Abd-el Gawad

(2) 日程

本邦研修（OJT）の日程を以下に示す。

表 3-11 需要予測モデルの本邦研修 (OJT)

Port Economics Training (Ⅲ) Schedule

Training Course		Port Economics Training (Ⅲ)					JICA		
Course Number							Department in charge		
Training Terms		2014/5/25	~	2014/6/20	Number of Participants		3	2014/5/14	
Date	Time	Figure	Contents	Lecturer / Instructor			Language	Venue	Accommodation
				Name	Organization in Charge	Tel			
5/25(Sun)	~		Arrival in Japan						
5/26(Mon)	9:30 ~ 11:30		JICA Briefing Session		JICA Tokyo (Orientation Room/4F)	03-3485-7051(4F)	E	JICA Tokyo	
	13:30 ~ 14:30		Transfer (JICA Tokyo→JICA Head Office)						JICA Tokyo
	14:30 ~ 15:15		Program Orientation at JICA Headquarters	Mr. Imai	Economic Infrastructure Dept. Suez Project Member	03-5275-5931 03-5228-8129	E	JICA Headquarters	
	16:00 ~ 16:45		Visit OCDD	Mr. Okada	OCDD	03-5275-5931	E	OCDD	
5/27(Tue)	10:30 ~ 12:00	Lec	Theory of Management	Mr. Tateno	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	JICA Tokyo
	13:30 ~ 16:30	Lec	Issue of Suez Canal Management	Mr. Tateno	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	
5/28(Wed)	10:00 ~ 12:00	Lec	Demand Forecast (1)	Dr. Shibasaki	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	JICA Tokyo
	13:30 ~ 16:30	Lec	Strategy of Bulk Carrier Business (Dry/Liquid)	Mr. Nakashima	Suez Project Member	03-5253-8679	E	OCDD	
5/29(Thu)	10:00 ~ 12:00	Lec	Demand Forecast (2)	Dr. Shibasaki	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	JICA Tokyo
	13:30 ~ 16:30	Exc	Demand Forecast (Exc. 1)	Dr. Shibasaki	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	
5/30(Fri)	10:00 ~ 12:00	Lec	Traffic Demand Forecast (Trend of World Economy)	Mr. Kato/Oishi	Suez Project Member	03-5157-2141	E	MRI Headquarters	JICA Tokyo
	13:30 ~ 16:30	Exc	Demand Forecast (Exc.2)	Dr. Shibasaki	Suez Project Member	03-3434-0038	E	OCDD	
5/31(Sat)	~		Day off						JICA Tokyo
6/1(Sun)	~		Day off						JICA Tokyo
6/2(Mon)	10:00 ~ 12:00	Visit	Tokyo Port	Mr. Kazami	Tokyo Metropolitan Gov.	03-5320-5612	J	Tokyo Port	JICA Tokyo
	15:00 ~ 17:00	Pre	Exchange of opinions with Japan Univ. Pre Suez Canal	Dr. Shibasaki	Suez Project Member	03-5570-5931	E	the University of Japan	
6/3(Tue)	10:30 ~ 12:00	Dis	Exchange of opinions with Japanese Shipping Companies	Mr. Nakashima	Suez Project Member	03-5275-5931	E	The Japanese Shipowners' Association	JICA Tokyo
	13:30 ~ 16:30	Lec	MOL Headquarters	Mr. Nakashima	Suez Project Member	03-5253-8679	E	MOL Headquarters	
6/4(Wed)	10:00 ~ 12:00	Pre	Suez Canal Regional Development Project	Suez Project CP	Suez Project CP	03-3581-0121	E	The Tokai University Club	JICA Tokyo
	15:30 ~ 17:00	Lec	Demand Forecast of World's Energy	Mr. Ro	The Institute of Energy Economics, Japan	03-6570-5931	E	IEE (10F)	
6/5(Thu)	9:30 ~ 15:00	Visit	Move to Kashima / Kashima Port and Airport Construction	Dr. Shibasaki	Suez Project Member	0299-84-7711	E	Kashima Port and Airport Construction	JICA Tokyo
	15:00 ~ 17:00	Visit	Nippon Steel & Sumitomo Metal Kashima Power Co.	Dr. Shibasaki	Suez Project Member	03-5275-5931	E	Kashima Power Co.	
6/6(Fri)	10:30 ~ 12:00	Lec	Tariff Setting Policy (1)	Mr. Miyawaki	Suez Project Member	03-3434-0038	E	International Development & Environment Systems (IdeS)	JICA Tokyo
	13:30 ~ 16:30	Lec	Demand Forecast (Supply Chain Management)	Mr. Kato/Oishi	Suez Project Member	03-5157-2141	E	MRI Headquarters	
6/7(Sat)	~		Day off						JICA Tokyo
6/8(Sun)	~		Day off						JICA Yokohama
6/9(Mon)	10:45 ~ 11:15		Courtesy Call (MLIT)		NILIM		J	NILM (3F)	JICA Yokohama
	11:15 ~ 12:00	Lec	Overview of NILIM	Mr. Samejima	NILIN	046-844-5019	J	NILIM (Room 1-2/ 3F)	
	13:00 ~ 15:00	Lec	Statistics/Data of Port Commodity Distribution	Mr. Watabe	NILIN	046-844-5028	J	NILIM (Room1-2/ 3F)	
6/10(Tue)	10:00 ~ 11:30	Lec	Rule of Shipping Route in Future Generation	Mr. Abe	NILIM	046-844-5027	E	NILIM (Room 1-2/ 3F)	JICA Yokohama
	13:30 ~ 14:30	Lec	All Ship Elements and Plan for Berthing Facility	Mr. Abe	NILIM	046-844-5027	E	NILIM (Room 1-2/ 3F)	
	15:00 ~ 16:30	Exo	Analysis of All Ship Elements	Mr. Abe	NILIM	046-844-5027	E	NILIM (Room1-2/ 3F)	
6/11(Wed)	10:00 ~ 11:00	Visit	Overview of PARI - Visit Facility	Mr. Kuroki	PARI	046-844-5040	JE	PARI	JICA Yokohama
	11:00 ~ 12:00	Visit	Overview of Facility	Mr. Ozawa	PARI	046-844-5040	JE	PARI	
6/12(Thu)	10:00 ~ 11:30	Lec	Overview of Yokohama Port	Mr. Imamura	Port & Harbour Bureau, Yokohama City	045-651-2874	J	Port & Harbour Bureau, Yokohama City (6F)	JICA Tokyo
	13:30 ~ 14:15	Visit	Yokohama Port (Get on Board a Ship, "Otori")	Mr. Imamura	Port & Harbour Bureau, Yokohama City	045-651-2874	J	Port of Yokohama	
	14:45 ~ 16:15	Visit	Yokohama Container Terminal (Daikoku C4 Terminal/YCC)	Ms. Masaoka	Port & Harbour Bureau, Yokohama City	045-651-7188	J	Port of Yokohama	
6/13(Fri)	10:00 ~ 12:00	Lec	Arctic Ocean Route (1)	Mr. Otsuka	North Japan Port Consultants Co.	03-5570-5931	E	OCDD	JICA Tokyo
	13:30 ~ 15:00	Lec	Arctic Ocean Route (2)	Mr. Sakai	Ocean Policy Research Foundation (OPRF)	03-5404-6828	E	OCDD	
6/14(Sat)	~		Day off						JICA Tokyo
6/15(Sun)	~		Day off						JICA Tokyo
6/16(Mon)	10:00 ~ 12:00	Lec	Value Added Services (1)	Mr. Azuma	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	JICA Tokyo
	13:30 ~ 16:00	Lec	Value Added Services (2)	Mr. Azuma	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	
6/17(Tue)	10:00 ~ 12:00	Exc	Preparation of Report	Mr. Fujimoto	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	JICA Tokyo
	13:30 ~ 17:00	Exc	Preparation of Report	Mr. Fujimoto	Suez Project Member	03-5275-5931	E	OCDD	
6/18(Wed)	10:00 ~ 12:00	Visit	NACCS Center (EDI System for Port and Custom Procedure)	Mr. Tanaka	NACCS Center	044-520-6233	E	NACCS Center (Kawaaki)	JICA Tokyo
	13:30 ~ 17:00	Exc	Preparation of Report	Mr. Fujimoto	Suez Project Member	03-5570-5931	E	JICA Tokyo	
6/19(Thu)	10:00 ~ 11:30		Presentation of Report, Evaluation Meeting, Presentation of Certificate	Mr. Imai	Economic Infrastructure Dept., JICA Suez Project Member	03-5228-8129	E	JICA Headquarters	JICA Tokyo
6/20(Fri)	~		Departure from Japan						

(3) 本邦研修 (OJT) 状況



JICA 表敬



JICA 表敬



OCDI 表敬



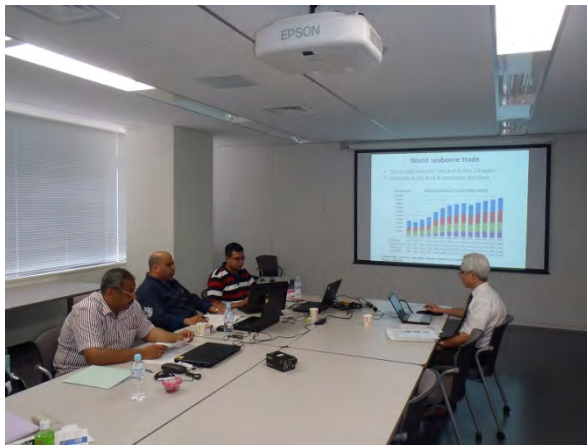
OCDI 表敬



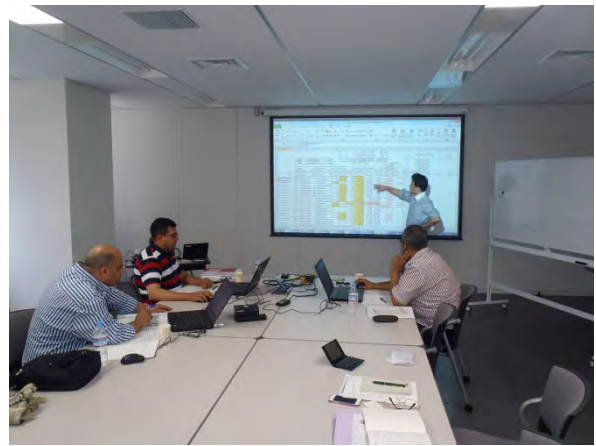
マネージメント理論・課題
(JICA 技プロ 館野専門家)



交通需要予測手法
(JICA 技プロ専門家 柴崎専門家)



コンテナ船・バルク船ビジネスの戦略
(JICA 技プロ 中島専門家)



交通需要予測演習
(JICA 技プロ 柴崎専門家)



交通需要予測手法 (世界経済の動向)
(JICA 技プロ 加藤/大石専門家)



東京港視察
(東京都港湾局)



意見交換会 (日本大学)
(CP リファット氏プレゼン (SCA))



邦船社との意見交換会
(商船三井本社)



邦船社との意見交換会
(日本船主協会)



スエズ運河地域開発プロジェクト
(CP ハテム氏 (SCA) プレゼン)



世界のエネルギー需給見通し
(日本エネルギー経済研究所)



鹿島港現場視察
(鹿島港湾・空港整備事務所)



新日鉄住金 鹿島製鉄所視察
(新日鉄住金)



通航料金設定理論
(JICA 技プロ 黒田／宮脇専門家)



交通需要予測手法
(JICA 技プロ 加藤/大石専門家)



国総研概要
(国土技術政策総合研究所 鮫島課長)



港湾物流に関わる統計・データ
(国土技術政策総合研究所 渡辺室長)



船舶諸元分析演習
(国土技術政策総合研究所 安部室長)



港空研の概要
(港湾空港技術研究所 黒木係長)



港空研の施設見学
(港湾空港技術研究所)



横浜港視察
(横浜市港湾局)



コンテナターミナル・物流センター視察
(横浜国際流通センター)



北極海航路 (1)
(北日本港湾コンサルタント 大塚部長)



北極海航路 (2)
(海洋政策研究財団 酒井チーム長)



付加価値サービス
(JICA 技プロ 東総括)



研修成果報告準備
(CP リファット・ホッサム・ハテム氏)



NACCS センター視察
(輸出入・港湾関連情報処理センター)



研修成果報告書発表
(CP リファット・ホッサム・ハテム氏)



研修評価会
(JICA)



修了証書授与
(JICA)

(4) 研修コース評価

研修コース名	港湾経済研修(Ⅲ) (J1421687)
受入期間	2014/ 05/25 ~ 2014/ 06/20
対象人数	3名

-パフォーマンスの個別評価-

◆ プログラムの到達目的

- ・スエズ運河通航量需要予測モデルの運用、小規模改良を自ら行えるようになること
- ・コンテナ船通航料金設定理論を理解し、料金検討作業を効率的に行えるようになること
- ・バルク船のビジネス戦略の認識を向上させること

Q. 設定された到達目標とニーズの適合について

	← ←達成できている			達成していない → →	
研修前	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
研修後	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 4 3	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1

1. あなたもしくは所属組織が案件目標を達成する上で、プログラムのデザインは適切と思いますか？

← ← 適切である		不適切である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	3		

2. 研修期間は適切でしたか？

長い	適切	短い
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	

3. 本研修の参加者人数は適切と思いますか？

多い	適切	少ない
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	

4. 本研修において研修参加者の経験から学ぶことができましたか？

← ← できた		できない → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	3		

5. 視察や実習など直接的な経験を得る機会が十分ありましたか？

← ← 十分にある		不十分である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
3			

6. 討議やワークショップなど、主体的に参加する機会が十分ありましたか？

← ← 十分にある		不十分である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
3			

7. 講義の質は高く、理解しやすかったですか？

← ← 高い		低い → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	3		

8. テキストや研修教材は満足するものでしたか？

← ← 満足である		不満足である → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	3		

Q9. 有益であったコンテンツ（科目）の記載とその理由を述べて下さい。

特に有益であったコンテンツ（科目）	
<p>(Refaat, Hossam, Hatem)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 需要予測 - 付加価値サービス - 日本船首協会とのミーティング - スエズ運河地域開発プロジェクト 	<p><理由></p> <p>スエズ運河の競争力強化のために必要である。</p> <p>顔を突き合わせた意見交換ができた。</p>
<p>(Refaat)</p> <p>管理運営とマーケティング手法について</p>	<p>スエズ運河の改善のために、今後継続的に強化していかなければならない課題である。</p>
<p>(Hossam)</p> <p>三菱総合研究所(MRI)の世界経済の動向と北極海航路について</p>	<p>世界経済の動向が把握できた。</p>
<p>(Hatem)</p> <p>スエズ運河の競合関係にある北極海航路の現況、潜在能力について</p>	<p>近年の異常気象で北極海の氷が溶けている影響を認識するとともに、北極海ルートが現況を把握した。</p>
必要ではなかったコンテンツ（科目）	
<p>(Refaat, Hossam, Hatem)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 特になし 	<p><理由 ></p> <p>全科目がプログラムの目標として構成されていた。</p>

扱われなかったが、含むべきコンテンツ（科目）	
<p>(Refaat, Hossam, Hatem) コンテナ船以外の通航料金設定について</p> <p>タンカー船の需要予測について</p> <p>(Refaat) 最近の日本と世界との貿易戦略（各国の輸出入港）について</p> <p>(Hossam) スエズへのルート選択と戦略について。</p> <p>マーケティング戦略について</p> <p>(Hatem) スエズ運河と競合関係にある内陸鉄道輸送について</p> <p>オイルパイプラインとガス輸送について</p>	<p><理由></p> <p>次回（第5次現地調査）、講義を期待する。</p> <p>スエズ運河にとって、日本との貿易は重要である。将来の日本の貿易に興味があるため、今後の対策を知りたい。</p> <p>すべての競合相手が、どのようなルートを選択していくかが重要な課題である。</p> <p>今後の取り組みとして、マーケティングの問題が直面している。</p> <p>スエズ運河の競合関係に鉄道輸送ルートが考えられる。</p> <p>パイプライン特に SUMED ラインは、今後のスエズ運河のオイル輸送に悪影響を与える。</p>

10.本邦研修で得た日本の知識・経験は役立つと思いますか？

<input type="checkbox"/> A 3	はい、業務に直接的に活用することができる。
<input type="checkbox"/> B	直接的に活用することはできないが、業務に応用できる。
<input type="checkbox"/> C	直接的に活用、応用することはできないが、自分自身の参考になる。
<input type="checkbox"/> D	いいえ、全く役立たない。

<ファシリテーション>

11.疑問や困難があった際、もしくはアクションプランやレポート作成の際、日本側から助言が得られましたか？

← ← はい		いいえ → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
3			

12.目標を達成するための適切なファシリテーションを受けることができましたか？

← ← はい		いいえ → →	
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
3			

13.研修監理員の通訳および研修監理サービス（調整・手配）には満足しましたか？

	← ← 満足		不満 → →	
■通訳	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	3			
■研修管理サービス	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1
	3			

<研修を支える環境>

14. 宿泊施設に関する以下の項目について、満足であったかお答えください。

	← ← 満足		不満足 → →		X
JICA センター設備(TIC)	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/>
	3				
JICA センター食事(TIC)	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/>
	3				
JICA センター設備(YIC)	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/>
			3		
JICA センター食事(YIC)	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 1	
				3	

Q1～Q14 に関して、改善のための提言

(Refaat)

すべての JICA センターが設備、食事ともに同じレベルになることを望みます。
1 時間の研修で 3 時間の移動時間を費やす日程があった。

(Hossam)

特にコメントは、ありません。

(Hatem)

コンテナ船へ訪問乗船し、さらに海運における新技術の講義を受講できることを望む。

3-5 ローカルコンサルタントの活用

JICA プロジェクトチームは、オイルタンカー船と自動車専用運搬船の運行状況に関するデータベースの作成のためにローカルコンサルタントを雇用することとし、仕様書 (SOW) 及び契約書を準備中である。

3-5-1 仕様書 (案)

コンサルタントは、市販データベース“シーサーチャー”を用いて 2010 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間におけるオイルタンカー船と自動車専用運搬船にデータベースを作成する。

- (1) ロイドの市販データベースを用いる。

<http://www.loydslistintelligence.com>

コンサルタントは、ロイドのデータベースへのアクセス権を自ら取得する。

- (2) 作成するデータベースの対象となるオイルタンカー

GT : 30,000 トン以上

船型タイプ : 原油、ケミカルタンカー (名前は添付ファイル-2 に表示されます)

- (3) 作成するデータベースの対象となる自動車専用運搬船

DWT : 10,000 トン以上 (添付ファイル-3 に表示されています)

- (4) 2010 年 1 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日の期間のデータを収集する。

3-6 現地調査

3-6-1 スエズ運河周辺

- (1) 訪問先

現地調査は、次の通り実施された。

現地調査

日付	場所	インタビュー	担当
2012/8/7	スエズ	ポートタウィックシップヤード、スエズシップヤード社 アメリカンマリンサプライ & オウシヨアケータリング社	東(JICA Team) ヤヒア(SCA)
2012/8/8	ポートサイド	ポートサイドシップヤード	東(JICA Team) ホッサム(SCA)
2012/8/14	ポートサイド東	スエズ運河コンテナターミナル	東(JICA Team) マレイ(SCA) ヤヒア(SCA)
2012/9/16	ポートサイド西	インチケーブ SHIPPING サービス社	東(JICA Team) 館野(JICA Team) 藤本(JICA Team)
2012/9/18	イスマイリア	海上トレーニングシミュレーションセンター(SCA)	矢吹(JICA Team) 藤本(JICA Team) ハテム(SCA)
2012/9/19	ポートサイド西	ポートサイドコンテナターミナル & カーゴハンドリング社(PSCCHC) キャナル SHIPPING 代理店(CSA)	東(JICA Team) 館野(JICA Team) ハガグ(SCA) ヤヒア(SCA)
2012/9/27	ポートサイド東	スエズ運河コンテナターミナル	館野(JICA Team) 加藤(JICA Team) 大石(JICA Team) 宮脇(JICA Team) マレイ(SCA)

(2) インタビュー

インタビューの記録は、付録-2 に添付する。

(3) インタビュー状況



インチケープ社



海上シミュレーション・トレーニングセンター(SCA)



ポートサイドコンテナターミナル



スエズ運河コンテナターミナル

3-6-2 パナマ運河

(1) 行程

現地調査(パナマ運河)

日付	場所	インタビュー	担当
2013/1/28	パナマ	パナマ運河庁 (ACP)	東 (JICA Team) 小舟(JICA Team) リズク(SCA) ヤヒア(SCA)
2013/1/29	パナマ	アトランティック建設現場	東 (JICA Team) 小舟(JICA Team) リズク(SCA) ヤヒア(SCA)
2013/1/30	パナマ	通航管理センター	東 (JICA Team) 小舟(JICA Team) リズク(SCA) ヤヒア(SCA)
2013/2/1	パナマ	マンサニロ国際ターミナル	東 (JICA Team) 小舟(JICA Team) リズク(SCA) ヤヒア(SCA)
2013/2/2	パナマ	パナマ運河トランジット	東 (JICA Team) 小舟(JICA Team) リズク(SCA) ヤヒア(SCA)

(2) レポート

現地調査レポートは、付録Ⅱに添付する。

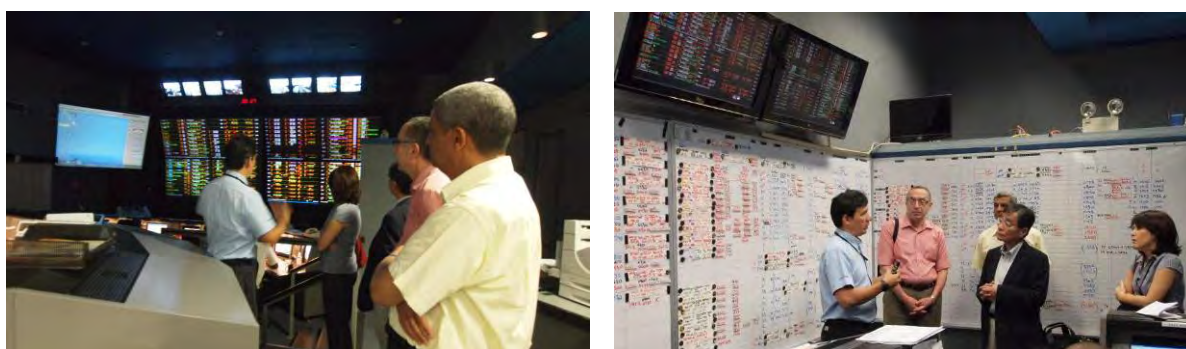
(3) 現地調査状況写真



スエズ運河庁ミーティング (1/28)



アトランティック建設現場視察



通航管理の説明 (1/30)

3-6-3 イギリス、ノルウェー、デンマーク

(1) 行程

日付	行程
10月18日(土)	14:00 共同現地調査 事前打合せ(カイロフラメンコホテル)
10月19日(日)	9:35 ロンドンへ (カイロ発 MS 777)
10月20日(月)	14:00 国際海運会議所とのミーティング
10月21日(火)	10:30 国際海事機関とのミーティング
	14:00 国際商業会議所海事局とのミーティング
10月22日(水)	10:20 オスロへ (ロンドン発)
	16:00 チュディ船社とのミーティング
10月23日(木)	10:00 フリチョフ・ナンセン機関とのミーティング
	17:55 キルキネスへ(ロンドン発 SK 4478)
10月24日(金)	10:30 High North 物流センターとのミーティング
	13:00 現地視察 (キルキネス港, ストックヤード, Sydbaranger 鉱山)
10月25日(土)	11:30 コペンハーゲンへ (キルキネス発 SK 4473+ SK 1471)
10月27日(月)	10:00 マースク社ミーティング
	13:30 欧州日本研究所、コペンハーゲン大学とのミーティング
10月28日(火)	10:05 カイロへ (コペンハーゲン発 SK 1637+ SK 3783)

(2) レポート

現地調査レポートは、付録Ⅱに添付する。

(3) 現地調査状況写真



国際海運会議所とのミーティング（ロンドン）



国際海事機関とのミーティング（ロンドン）



国際商業会議所海事局とのミーティング（ロンドン）



チュディ船社とのミーティング



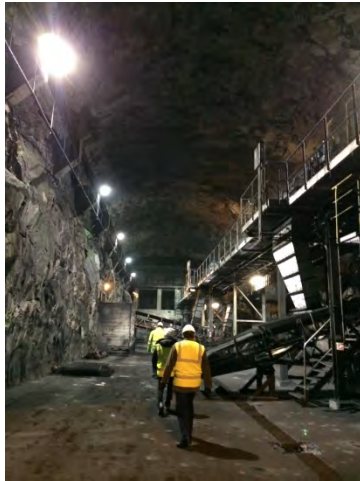
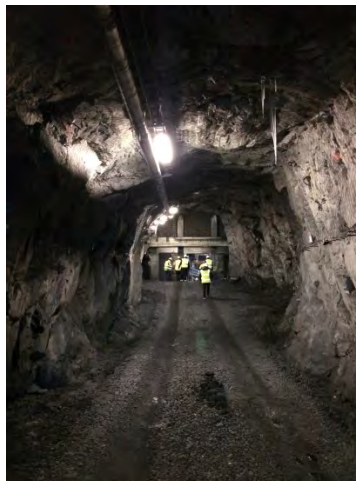
フリチョフ・ナンセン機関とのミーティング



High North 物流センターとのミーティング



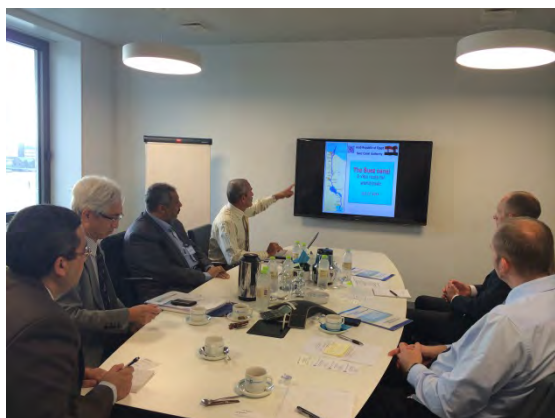
現地視察 (キルキネス港, ストックヤード, Sydbaranger 鉱山)



鉄鉱石ストックヤード



Sydvaranger 鉞山



マースク社とのミーティング



欧州日本研究所、コペンハーゲン大学とのミーティング

3-7 運営委員会 (SC)

3-7-1 初回 (SC)

- (1) 日付 : 2012年 4月 29日
- (2) 開催地: スエズ運河庁
- (3) 議題: ワークプラン (案)
- (4) 参加者:

No.	名前 (スエズ運河庁)	所属
1)	Mr. Mahmoud A. Rezk	計画調査研究部 次長
2)	Mr. El-Sayed Marei	計画調査研究部 次長

- 3) Mr. Yahia Rushdy Gharib 計画調査研究部 総括課長
- 4) Dr. Abdel Tawab Hagag 計画調査研究部 顧問
(日本側)
- 5) 東 俊夫 プロジェクトチーム 総括/戦略策定

(5) 結論

合意に至った主要な結論は、以下の通り

- i) ワークプラン（案は、両者の意見とコメントに基づき改定後、基本的に受け入れられた。
- ii) 改定後のワークプラン（案）を付録 I に添付する。
- iii) ワークプラン（案）を JCC に提出する。JCC はこれを精査し、承認する。ワークプランは、JCC での議論に基づき修正される可能性がある。

議事録は、付録 II に添付する。

3-8 共同委員会の調整(JCC)

3-8-1 1回目 (JCC)

- (1) 日付: 2012年4月29日
- (2) 開催地: スエズ運河庁
- (3) 議題 : 作業計画草案
- (4) 参加者:

No.	名前	役職
	<i>(スエズ運河庁)</i>	
1)	Eng. Nabil A. M. El-Tanbedawi	計画調査研究部長
2)	Mr. Mahmoud A. Rezk	計画調査研究部 次長
3)	Mr. El-Sayed Marei	計画調査研究部 次長
4)	Mr. Yahia Rushdy Gharib	計画調査研究部 総括課長
5)	Dr. Abdel Tawab Hagag	計画調査研究部 顧問
	<i>(日本側)</i>	
6)	東 太郎	JICA エジプト事務所 次長
7)	水草 浩一	JICA エジプト事務所 主査
8)	Dr. Ashraf M. EL-ABD	JICA エジプト事務所 主査
9)	東 俊夫	プロジェクトチーム 総括/戦略策定

(5) 結論:

主要な結論は、以下の通り合意に至った。

業務進捗報告書と作業計画は原則的に承認する。プロジェクトは、作業計画に基づき実施される。議事録を付録Ⅱに添付する。

3-8-2 2回目 (JCC)

(1) 日付: 2013年3月10日

(2) 開催地: スエズ運河庁

(3) 議題: 作業計画草案

(4) 参加者:

No.	名前	役職
	(スエズ運河庁)	
1)	Mr. Mahmoud A. Rezk	計画調査研究部 次長
2)	Mr. Yahia Rushdy Gharib	計画調査研究部 次長
3)	Dr. Abdel Tawab Hagag	計画調査研究部 顧問
	(日本側)	
4)	東 俊夫	プロジェクトチーム 総括/戦略策定

(5) 結論:

主要な結論は、以下の通り合意に至った。

業務進捗報告書と作業計画は原則的に承認する。プロジェクトは、作業計画に基づき実施される。議事録を付録Ⅱに添付する。

3-8-4 4回目 (JCC)

- (1) 日付: 2015年2月15日
- (2) 開催地: スエズ運河庁
- (3) 議題: スエズ運河戦略 (草案)
- (4) 参加者:

No.	名前	役職
	(スエズ運河庁)	
1)	Mr. Yahia Rushdy Gharib	計画調査研究部 次長
2)	Dr. Abdel Tawab Hagag	計画調査研究部 顧問
3)	Mr. El-Sayed Abou-el Fetouch Elsayed	計画調査研究部コンテナグループ長
4)	Mr. Refaat Saad Arnoot	計画調査研究部バルクグループ長
5)	Dr. Fathy Abd El-Bary	計画調査研究部タンカーグループ長
6)	Mr. Hossam Abdel Karim	計画調査研究部長距離輸送船グループ長

	(日本側)	
4)	東 俊夫	プロジェクトチーム 総括/戦略策定

- (5) 結論:

主要な結論は、以下の通り合意に至った。

スエズ運河戦略 (草案) に承認する。プロジェクトは、作業計画に基づき実施された。
スエズ運河戦略は、成果品として提出する。

3-9 JICA セミナー

- (1) 日付: 2014年11月30日
- (2) 場所: イスマイリア メルキュールホテル
- (3) 議題: スエズ運河開発において
- (4) プログラム

9:30 - 10:00	受付
10:00 - 10:20	開催挨拶 【スエズ運河庁 マメッシュュ長官】 【在エジプト国 香川特命全権大使】
10:20 - 10:30	スエズ運河開発に対する長年の日本の協力を再広報（含動画上映） 【JICA エジプト事務所 エルアブ事務長】
10:30 - 10:50	スエズ運河開発事業に関する概要紹介 【スエズ運河庁計画研究調査 リズク部長】
10:50 - 11:10	スエズ運河を取り巻く世界の情勢 【京都大学 古市教授】
11:10 - 11:30	スエズ運河庁戦略強化プロジェクト（技プロ）に関するプレゼン 【OCDI 東総括】
11:30 - 12:00	工業団地開発の成功例、失敗例双方の事例と教訓の紹介 【JICA 社会基盤・平和構築部吉見審議役】
12:00 - 12:25	質疑応答
12:25 - 12:30	閉会式 【JICA エジプト事務所 松永所長】
12:30 - 14:30	現場視察
14:30 - 16:30	昼食

OCDI 東総括のプレゼン資料は、付録Ⅱに添付する。



JICA セミナー



プレゼン状況 (日本側)

4. パフォーマンス評価

パフォーマンスレベルの評価は、ワークプランに記載されている方法で実施した。

4-1 両者の入力

4-1-1 日本サイド

(1) 短期専門家.

短期専門家は、ワークプランに従い配置された。

(2) 本邦研修 (OJT)

本邦研修 (OJT) は、ワークプランに従い3回実施された。

(3) 運営費

JICAによる運営費負担は、ワークプランに従い実施された。.

4-1-2 エジプトサイド

(1) 担当者

SCAからのC/Pについては、ワークプランに従い配置された。

(2) プロジェクトオフィス・プロジェクトの実施のために必要な施設の提供

プロジェクトオフィスと設備は、ワークプランに従い提供された。

(3) その他

管理、操作、電気、水、等を含む機器のランニングコストは、ワークプランに従い提供された。

4-2 ワークショップ

ワークショップは、ワークプランに従い実施された。

4-3 合同セミナー

ワークプランに従い実施された。

4-4 本邦研修 (OJT)

本邦研修 (OJT) は、ワークプランに従い、3回実施された。

4-5 ローカルコンサルタントの活用

ローカルコンサルタントをオイルタンカー船と自動車運搬船のデータベースを作成するために雇用された。

4-6 現地調査

現地調査は、ワークプランに従い実施された。

4-7 運営委員会 (SC)

運営委員会は、ワークプランに従い開催された。

4-8 共同調整会議(JCC)

共同調整会議 (JCC) は、ワークプランに従い開催された。

4-9 総括的な評価

4-9-1 総括的な評価の方法

プロジェクトの進捗に対する意見・コメントを収集するため、評価シートを全専門家とカウンターパートに配布し評価を行った。

4-9-2 活動

専門家・カウンターパートから集められたすべてのシートは、付録 II に添付する。

(1)活動 1

以下に示す活動 1 の各小活動に係るモニタリング/評価の結果によれば、活動 1 の平均パフォーマンスレベルは「4.1」である。

i) 活動 1-1

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、ノウハウや情報は、プロジェクトチームとカウンターパート間で共有することができた。(レベル 3.8)

ii) 活動 1-2

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、ノウハウや情報は、プロジェクトチームとカウンターパート間で共有することができた。(レベル 4.3)

iii) 活動 1-3

いくつかの分析とワークショップを実施し、情報を共有することができた。
(レベル 4.2)

iv) 活動 1-4

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.0)

v) 活動 1-5

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.5)

ii) 活動 1-6

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.7)

(2) 活動 2

以下に示す活動 2 の各小活動に係るモニタリング/評価の結果によれば、活動 2 の平均パフォーマンスレベルは「4.2」である。

i) 活動 2-1

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.3)

ii) 活動 2-2

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.2)

iii) 活動 2-3

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.8)

iv) 活動 2-4

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.3)

(3)活動 3

以下に示す活動3の各小活動に係るモニタリング/評価の結果によれば、活動3の平均パフォーマンスレベルは「3.6」である。

i)活動 3-1

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.5)

ii)活動 3-2

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.5)

iii)活動 3-3

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.8)

iv))活動 3-4

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.5)

v)活動 3-5

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.5)

(4)活動 4

以下に示す活動4の各小活動に係るモニタリング/評価の結果によれば、活動4の平均パフォーマンスレベルは「3.9」である。

i)活動 4-1

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.8)

ii)活動 4-2

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ

ウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.0)

iii)活動 4-3, 4-4

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.6)

活動 4-4 に関して

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.0)

(5)活動 5

以下に示す活動 5 の各小活動に係るモニタリング/評価の結果によれば、活動 5 の平均パフォーマンスレベルは「3.9」である。

i)活動 5-1

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.0)

ii)活動 5-2

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 3.6)

iii)活動 5-3

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.0)

iv) 活動 5-4

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。(レベル 4.0)

4-9-3 成果

(1) 成果 1

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。パフォーマンスレベルは「4.2」である。

(2) 成果 2

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。パフォーマンスレベルは「3.7」である。

(3) 成果 3

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。パフォーマンスレベルは「3.7」である。

(4) 成果 4

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。パフォーマンスレベルは「4.0」である。

(5) 成果 5

一連のワークショップ、ディスカッション、セミナーを通じ、いくつかのノウハウ、情報は、チームとカウンターパートの間で共有された。パフォーマンスレベルは「3.8」である。